



平成 28 年 度

# 病 院 概 要

福 島 県 立 矢 吹 病 院

## 基本理念

# 仁愛・誠意・献身

～思いやりと真心で患者さんに尽くします～

## 七つの基本方針

精神保健福祉法を遵守し、私たちは

- 1 患者さんの人権に配慮し、癒しと回復の場を提供します。
- 2 情報の共有と相互の理解のもと、効果的で適切な医療を提供します。
- 3 患者さんの社会復帰の促進を図り、家庭や地域での生活を支援します。
- 4 公的責務を自覚し、救急や治療困難な患者さんの受け入れに努めます。
- 5 積極的に関連機関と連携し、広く地域精神保健活動に取り組めます。
- 6 透明かつ適正な運営により、県民の理解と信頼を得られるよう努めます。
- 7 明るく働きがいのある職場をつくり、真の「こころの治療」を追求します。

# 目 次

1	沿 革	1
2	病院の概要	2
(1)	施設の状況	4
(2)	敷地・建物の状況	4
(3)	施設の配置図	5
(4)	施設の平面図	6
	管理棟1階	6
	管理棟2階	7
	作業療法棟、1病棟	8
	2病棟、元3病棟	9
	3病棟	10
	元1病棟	11
	元2病棟	11
	生活療法棟	12
	看護師宿舎	12
3	組織・職員配置	13
(1)	組織・機構	13
(2)	職員配置状況	14
(3)	院内設置各種委員会	15
4	財務状況	17
(1)	収支決算状況	17
(2)	経営分析	18
5	患者の状況	19
(1)	入退院及び外来患者の推移	19
(2)	入院患者の経費区分の推移	19
(3)	年度末入院形態別在院患者数の推移	19
(4)	疾患別性別入院患者数の推移	20
(5)	年齢別性別入院患者数の推移	21
(6)	入院患者の在院期間別割合の推移	22
(7)	平均在院日数の推移	23
(8)	在院期間別年度内退院患者の推移	23
(9)	保健所別入院患者数	23
(10)	その他のクリニカル・インジケーター（臨時指標）	23
6	医療関係業務実施状況	24
(1)	リハビリテーション組織	24
(2)	生活療法部	25
(3)	レクリエーション療法部	25
(4)	作業療法部	27
(5)	デイケア医療部	28
(6)	訪問看護部	29
(7)	心理社会療法部	31
(8)	栄養管理部	32
7	医療安全管理室	33
(1)	基本方針	33
(2)	医療安全の取り組み	33
8	医療ソーシャルワーク実施状況	34
(1)	面接活動等	34
(2)	その他	34
9	臨床検査実施状況	34
10	臨床心理業務実施状況	35
(1)	カウンセリング等心理療法的業務	35
(2)	心理検査	35
11	薬事の状況	36
12	給食実施状況	37
13	看護活動の状況	38
(1)	病棟別看護概要	38
(2)	院内教育実施状況	39
(3)	院外研修実施状況	41
14	児童思春期外来の実施状況	42
(1)	開設からの経緯	42
(2)	診療日・診療時間・担当医師	42
(3)	診療対象年齢・疾患	42
(4)	外来受診状況	42
15	地域医療連携の実施状況	43
(1)	業務内容	43
(2)	実施状況	43
16	他機関への協力・援助状況	43
(1)	学校関係	43
(2)	県関係	44
(3)	市町村関係	44
(4)	団体関係	44
(5)	講演会関係	44
(6)	院外研究発表	45
(7)	出前講座	45
17	家族会活動状況	45
(1)	一般的活動	45
(2)	「家族通信」の発行（5/15、8/5の年2回発行…全会員に郵送）	45
(3)	矢吹病院まつり開催協力（10/25）	45



# 1 沿 革

昭和30年11月	県立矢吹精神病院（100床）として開設
昭和33年6月	病棟（38床）、管理診療棟増築
昭和34年8月	隔離病舎（20床）併設
昭和37年7月	病棟（55床）増築（旧6病棟）
昭和38年1月	福島県立矢吹病院と改称
昭和38年5月	病棟（55床）増築（旧7病棟）
昭和40年8月	病棟（50床）増築（旧8病棟）
昭和41年6月	病棟（50床）増築（旧10病棟）
昭和42年5月	看護婦宿舎（定員40名）新築
昭和42年6月	生活療法棟（体育館）新築
昭和47年12月	病床（60床）廃止、計288床
昭和49年3月	精神科作業療法実施承認
昭和50年4月	歯科診療開始
昭和54年1月	病院整備基本構想作成委託
昭和55年5月	病院改築工事設計委託
昭和56年4月	旧8, 10病棟（元1, 2病棟）をそれぞれ50 → 44床に定数減
昭和57年8月	病院改築工事（第1期）竣工
昭和57年8月	元3病棟（現2病棟、50床）、5病棟（現5病棟、62床）、6病棟（現1病棟、50床）、7病棟（現3病棟、50床）使用許可
	旧1, 2, 3, 6, 7病棟廃止
昭和58年3月	隔離病舎廃止、計300床
昭和59年3月	病院改築工事（第2期）竣工
平成3年4月	精神科デイケア（大規模）承認
平成5年2月	元3病棟（現2病棟）一部改造工事竣工（病室2室（8床）を保護室2室（2床）、静養室2室（2床）に改造）
平成5年4月	病床数の変更（許可病床数300 → 296床、運用病床数280 → 242床） 元2病棟閉鎖 看護体制の変更（6看護体制 → 5看護体制）
平成8年4月	精神科訪問看護実施
平成9年1月	入院時食事療養特別管理加算届出受理
平成12年3月	日本医療機能評価機構（精神病院種別A）認定
平成12年4月	元6病棟（現1病棟）一部改築工事竣工（病室4室（16床）を静養室8室（8床）に改造、保護室8室と救急外来を増設） 元1病棟閉鎖 看護体制の変更（5看護体制 → 4看護体制）
平成14年7月	病床数の変更（許可病床数296 → 295床、運用病床数242 → 206床）
平成14年7月	精神病棟入院基本料3（看護配置加算10：1看護補助加算）届出受理
平成14年7月	精神科応急入院病院に指定（平成15年9月辞退）
平成15年9月	病床数の変更（許可病床数295 → 294床）
平成15年10月	臨床研修病院に指定（27日付医政第1027004号、施設番号031283）
平成17年5月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成17年7月	心神喪失者等医療観察法に基づく指定通院医療機関に指定（15日付第33号）
平成18年4月	精神病棟入院基本料15対1（看護配置加算、15対1看護補助加算）届出受理
平成19年9月	内科外来開設
平成20年1月	病床数の変更（許可病床数294 → 206床）
平成22年6月	日本医療機能評価機構（精神科病院）認定更新
平成23年8月	児童思春期外来開設
平成24年1月	精神科応急入院指定病院に指定
平成27年4月	元3病棟休止 看護体制の変更（4看護体制 → 3看護体制）
	病床数の変更（運用病床数206 → 156床）
平成27年8月	病床数の変更（許可病床数206 → 199床）（運用病床数156 → 149床）
平成28年3月	精神科急性期治療病棟入院料（1病棟）の届出

## 2 病院の概要（平成27年度まで）

当病院は、昭和30年11月1日精神衛生法に基づき福島県立矢吹精神病院（100床）として開設された。開設当時から社会復帰に治療の重点を置き、作業療法の充実を図り、昭和49年3月には精神科作業療法の実施承認を受けた。また昭和52年には全国に先駆けて当地に障害者の社会的自立を援助することを目的とした白河地方職親連絡協議会が設立された。翌53年には、その協力のもとに矢吹病院家族会（昭和45年設立）が共同居住施設「あけぼの荘」（平成8年グループホームに認定）を開設し社会復帰の促進に向けて援助活動を開始した。悲願であった病院改築工事が3年の歳月をかけて昭和59年に完了し、当病院はより人間的な生活空間とリハビリ施設を持った新しい姿に生まれ変わった。

精神保健法の時代に入った平成3年4月、県内で最初に精神科デイケア（大規模）の実施承認を受けた。また平成5年4月には病棟を一部改修して6看護体制を5看護体制に再編成した結果、男子・女子閉鎖病棟の三人夜勤体制が組めるようになり、夜間のマンパワー確保が可能になった。更に、平成8年4月から遅ればせながらも精神科訪問看護を開始し、また平成9年1月には適時適温給食（夕食6時配膳）を提供する事が出来るようになった。

入院治療環境を整えながら外来治療へ、そして地域医療へと、常に一步先を見据えて試行錯誤してきた当院の歴史的流れの中で、デイケアと訪問看護の充実による再発予防体制の整備に傾注していた矢先の平成9年2月、県当局から第三次福島県立病院事業経営長期計画が提示された。一次・二次長期計画は民間精神病院をリードし得るモデル的精神医療の追求を認めるものであったのに対し、この三次長期計画は当病院の役割を①精神科救急医療・処遇困難患者の受け入れ等に特定し、入院患者の減少を理由に②病棟再編成（5看護体制から4看護体制に再編成）を行うという病院経営の赤字対策が前面に打ち出されたものであった。

策定された第三次長期計画に基づき、民間コンサルタントによる病院経営診断（平成10年度）を経て平成11年度からコンサルタント指導型の経営改善作業が開始されたが、その最中の平成11年7月、今度は「日本医療機能評価機構」の病院機能評価（精神A）受審の指示が県より下された。短い準備期間にも拘らず平成12年1月の訪問審査を経て翌2月に無事認定（平成22年12月3度目の認定更新）を受けると共に、この経過中に第三次長計①対応の為の保護室増設工事（平成12年4月供用開始）と、②の病棟再編成（5→4看護体制）を行うことができた。

しかし、その後も悪化の一途を辿る県立病院事業会計に対し、県は全ての県立病院に対して包括外部監査を実施（平成15年3月結果公表）し、県立病院事業改革委員会の設置、県立病院改革審議会の招集、県立病院改革実行方策の策定と矢継ぎ早の動きを展開し、平成19年3月で2病院を地元自治体に1病院を民間に移譲するとともに、別の2病院を統合・新築する方針を決定（平成25年5月会津医療センターとして開設済み）した。

一方で、存続が認められた病院には診療機能の充実と強化が求められ、各病院の長期経営計画案を基に病院局は平成19年3月「福島県病院事業経営改善計画」を策定した。これに則り同年5月に組織された「経営戦略会議」と8月に発足した外部有識者による「経営評価委員会」を車の両輪として、経営改善への更なる取り組みが開始された。直後の平成19年12月に国は「公立病院改革ガイドライン」を公表し、各自治体に病院経営改善のための『改革プラン』の策定を求めてきた。その後一年以上の時間をかけて策定された本県の改革プランは、平成21年5月の経営評価委員会と県立病院改革審議会での承認を受けてスタートするに至った。途中で東日本大震災と原発事故（平成23年3月）に見舞われたものの、一応の成果を得て平成25年度をもってこの改革プランは終了した。しかし、達成不十分な課題や震災復興関連の懸案事項を鑑み、県は独自に『新改革プラン』を作成し、引き続き平成26年度から実践を開始した。

新改革プラン2年目の昨年度は、東日本大震災直後に掲げた当院改革三本の柱（①医療観察法病棟整備②児童・思春期外来開設③アウトリーチ型医療の導入検討）のうち、着手が遅れていたアウトリーチ医療についてもようやく4月から本格的に活動を開始した。他にも、精神科救急情報センター業務の受託（4月）、地域医療連携室の設置（同）、日本医療機能評価機構による3回目の認定更新（6月）、精神科地域移行実施加算の算定開始（9月）、クロザリル医療機関登録（12月）、DPAT先遣隊登録（平成28年2月）、精神科急性期治療病棟入院料算定開始（3月）など、様々な変更を行った結果、年間入退院患者数の急増・平均在院日数の激減をみるに至った。

病院運営との直接的な関連はないが、当院は昨年11月に創立60周年を迎えた。これを記念して祝賀会・講演会（薬師寺・山田法胤管主）を10月に、児童思春期シンポジウムを1月に開催し、いずれも200名を超える参加者を迎えることができた。

福島県は、3.11から5年以上経過したにもかかわらず、地震・津波・原発事故の後遺症三重苦を現在もなお強いられている。依然として先が見えない不安定な毎日であり、加えて本年4月からの医師数減や精神保健福祉士・薬剤師不足という厳しい現実には直面させられている。しかし、それでもなお病院の改革を止めて後戻りすることはできないのであり、覚悟を決めてもう一度新たな気持ちで着実に前進して行きたいと思う今日この頃である。

平成28年6月

病院長 横山 昇

2-(1) 施設の状況

所在地 福島県西白河郡矢吹町滝八幡100番地  
 開設年月日 昭和30年11月1日（開設者：福島県病院事業管理者）  
 診療科目 精神科、内科（歯科：週1回委託診療）  
 許可病床 199床（運用149床、3看護単位）  
 普通病室166床、保護室14床（1病棟8床、2病棟6床）、  
 静養室14床（1病棟8床、2病棟6床）、社会復帰室5床（3病棟）  
 基準サービス 精神科急性期治療病棟入院料（1病棟：平成28年3月届出受理）  
 精神病棟入院基本料15対1（2・3病棟：平成18年4月届出受理）  
 ～看護配置加算、看護補助加算2～

2-(2) 敷地・建物の状況

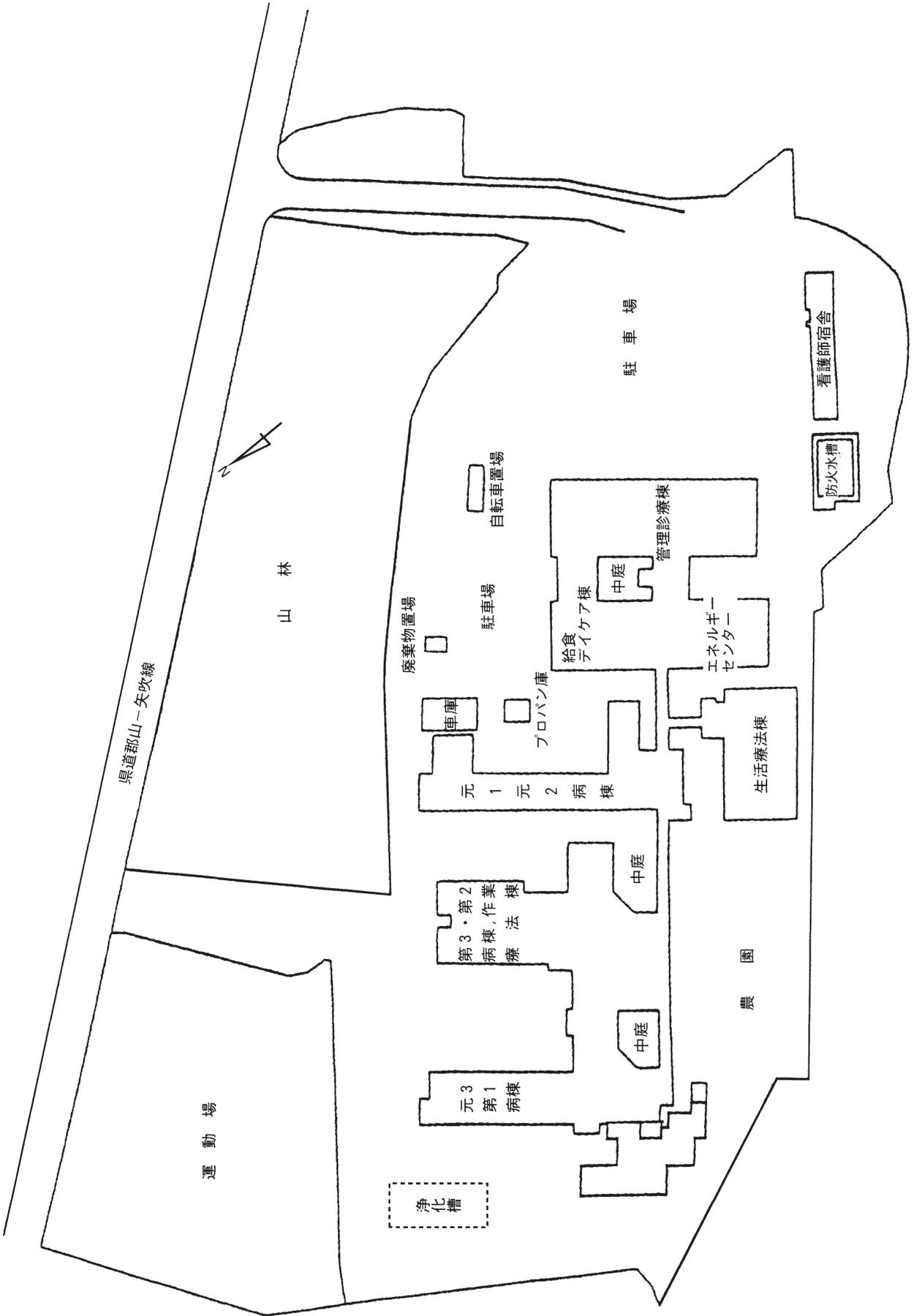
- ① 敷地面積 45,859㎡（うち借地 10,131㎡）
- ② 建物面積 7,511㎡、延床面積 13,942㎡

【内訳】

平成28年6月1日現在

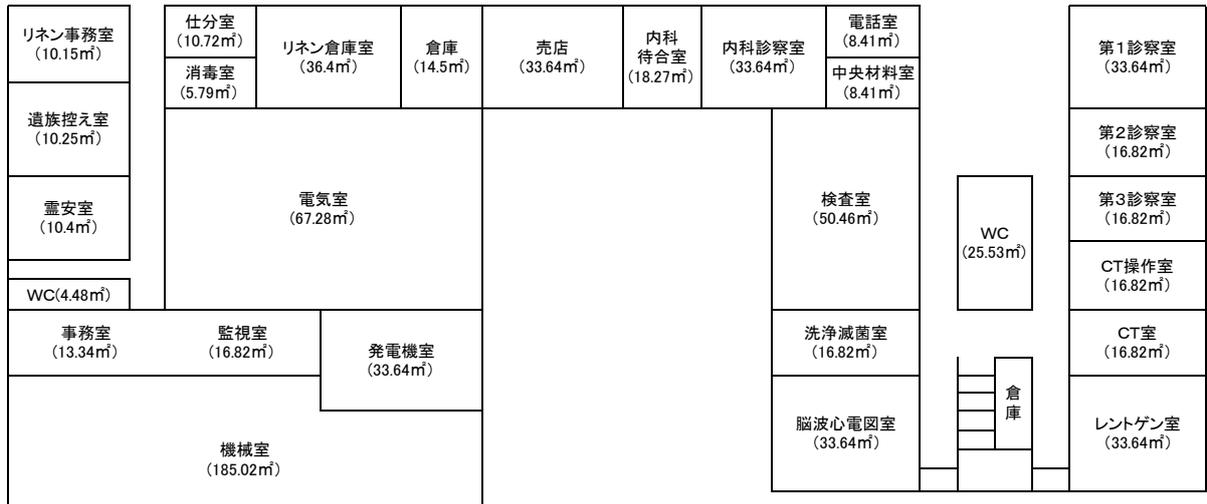
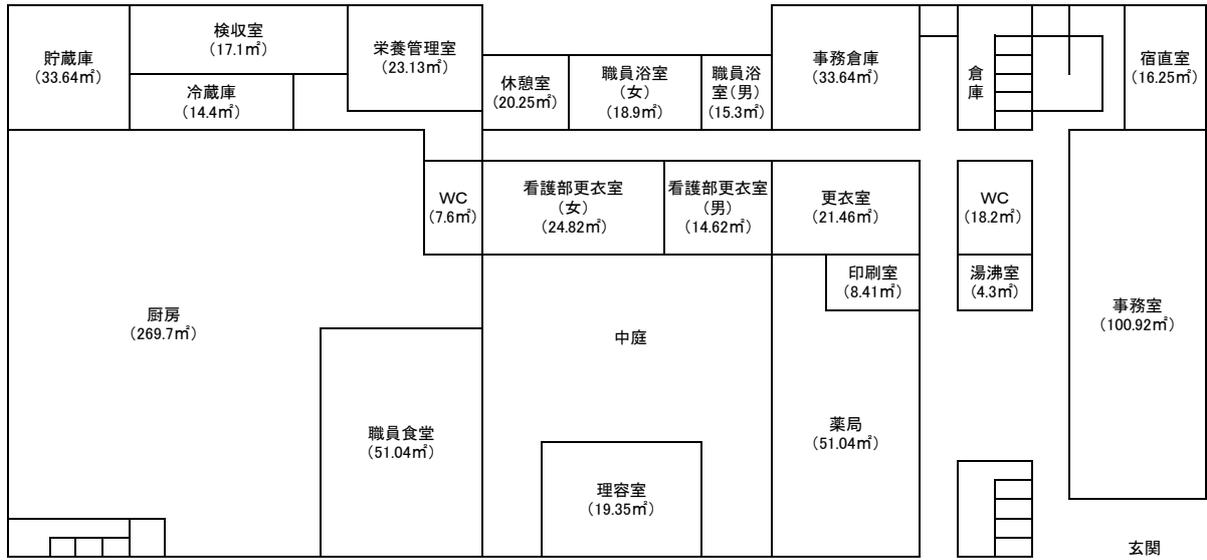
建物区分	完成年度	構造	主な用途	建築面積	延床面積
管理棟 診療棟	S.58	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 事務部、外来診察室、 薬局、検査室、売店、 エネルギーセンター等 2 F. デイケア室、会議室、 研修室、図書室、 医療福祉相談室、 地域医療連携室	管理部門 1,670㎡  診療部門 420㎡	4,513㎡
病棟 (元1, 2) (廃止)	S.40	鉄筋コンクリート造 2階建	1 F. 元1病棟（廃止） 2 F. 元2病棟（廃止）	病棟部門 992㎡ (廃止)	1,798㎡
病棟 (1, 2, 3) 作業療法棟	S.57	鉄筋コンクリート造 2、3階建	1 F. 作業療法棟 1 F. 1病棟 2 F. 2、元3病棟（休止中） 3 F. 3病棟	診療部門 1,153㎡	6,145㎡
	H.11		1 F. 保護室、救急外来	病棟部門 2,204㎡	
生活療法棟	S.42	鉄筋コンクリート造 平屋建	主にデイケア	診療部門 608㎡	608㎡
看護師宿舎	S.42	鉄筋コンクリート造 3階建	個室、20室	管理部門 217㎡	631㎡
車庫棟	S.58	鉄骨造平屋建	車庫	管理部門 128㎡	128㎡
その他建物	S.58		ボンベ室、自転車置き場 グラウンド便所	管理部門 54㎡	54㎡
医師公舎	S.34	木造平屋建	公舎、物置	管理部門 65㎡	65㎡
			・管理部門	2,134㎡	
			・診療部門	2,181㎡	
			・病棟部門	3,196㎡	

2-(3) 施設の配置図



2 - (4) 施設の平面図

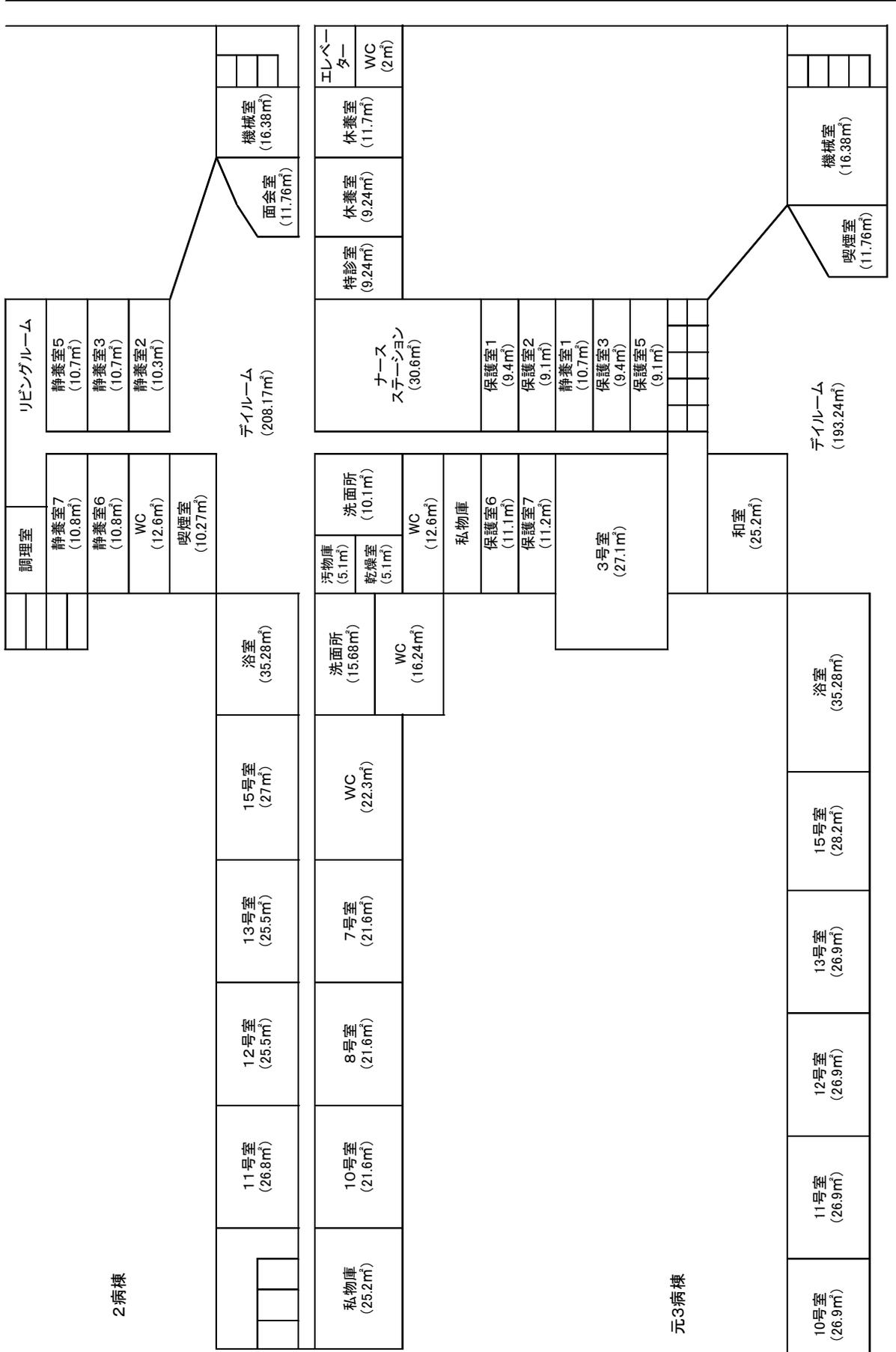
管理棟1階







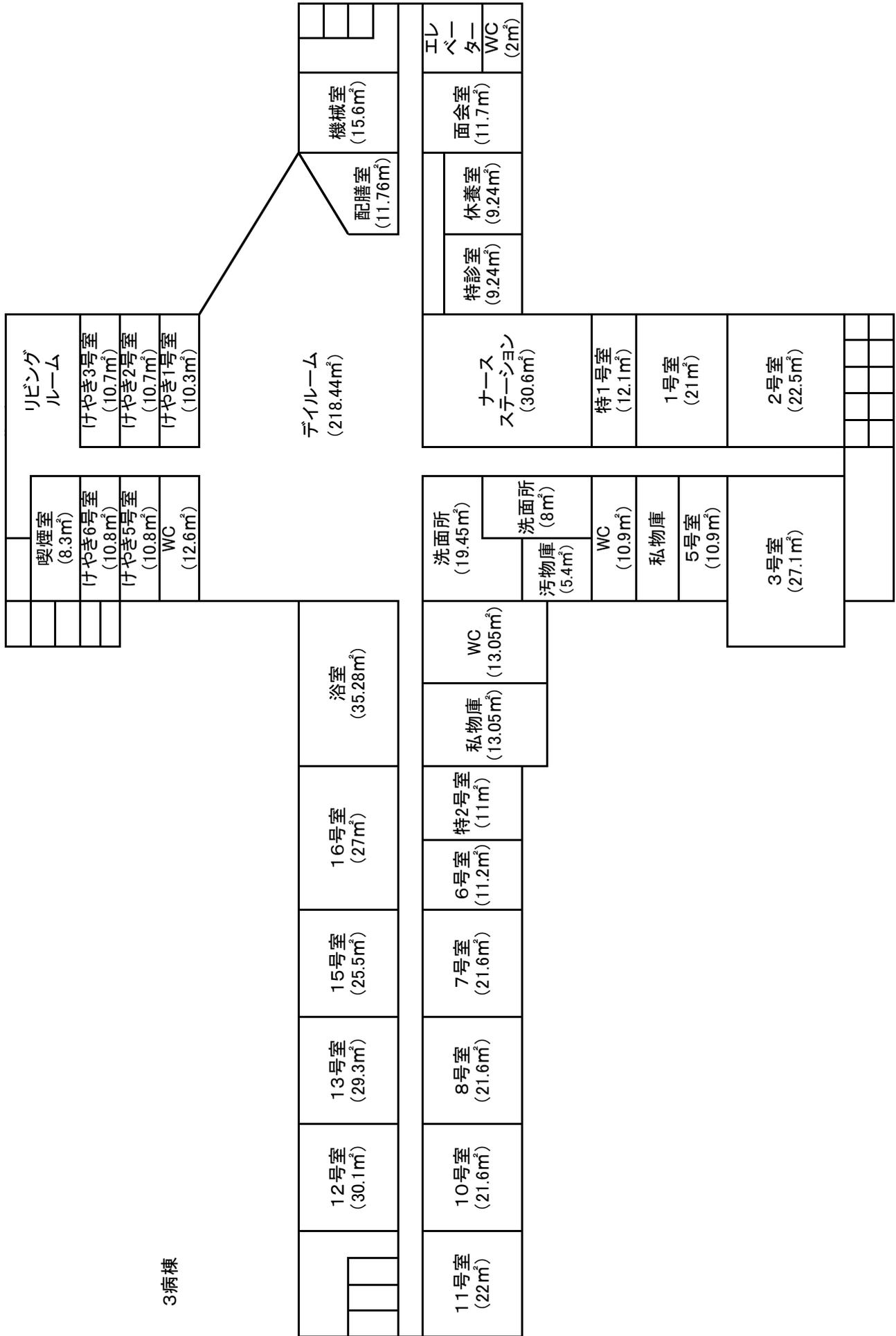
2病棟



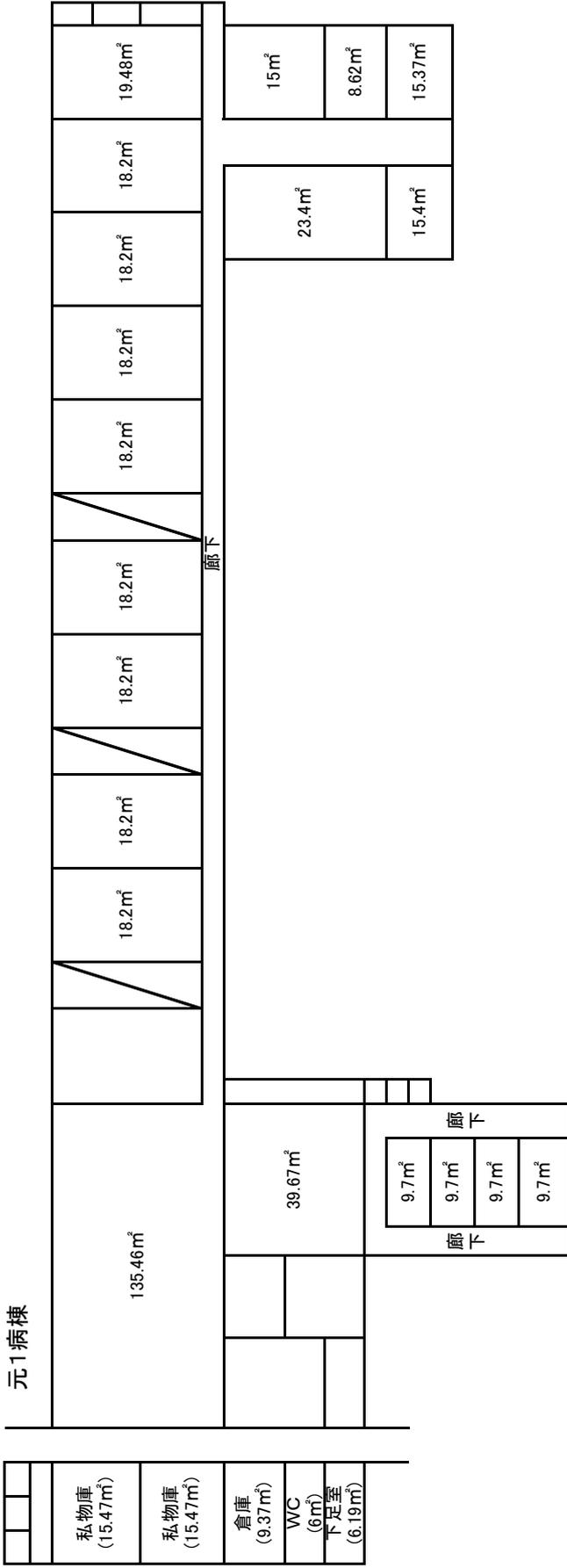
元3病棟



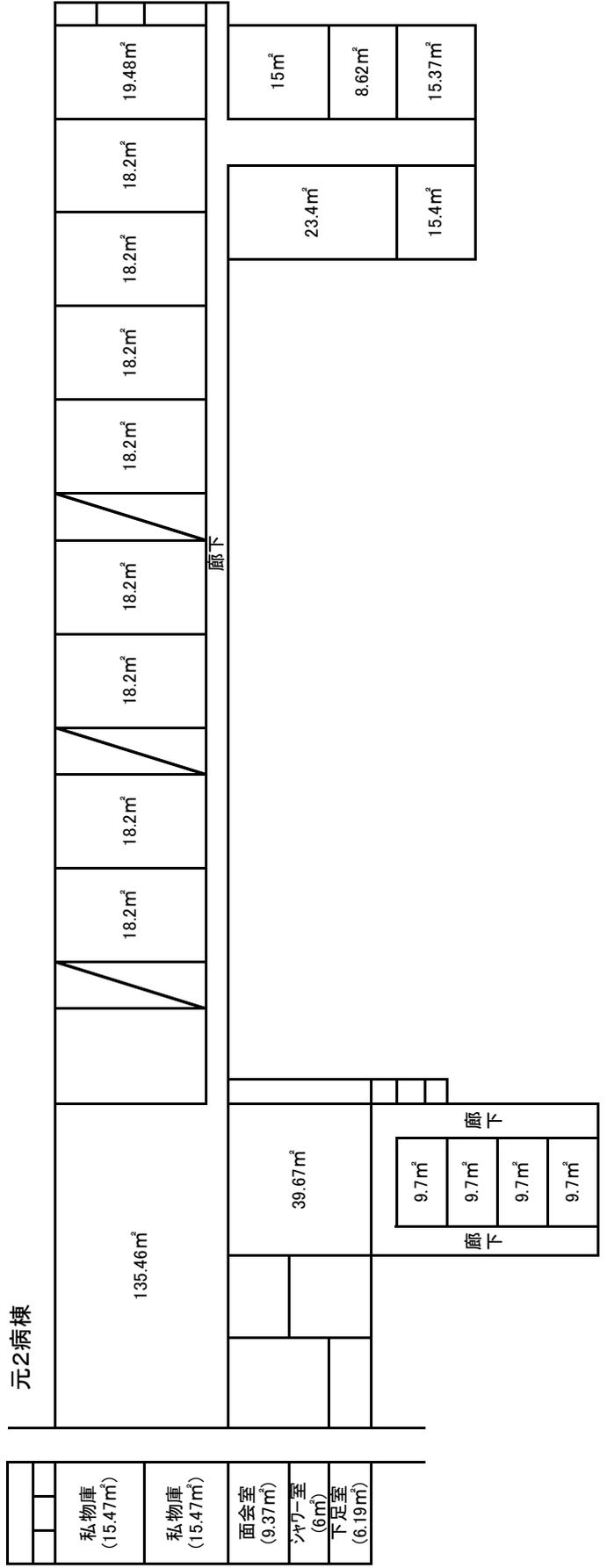
3病棟



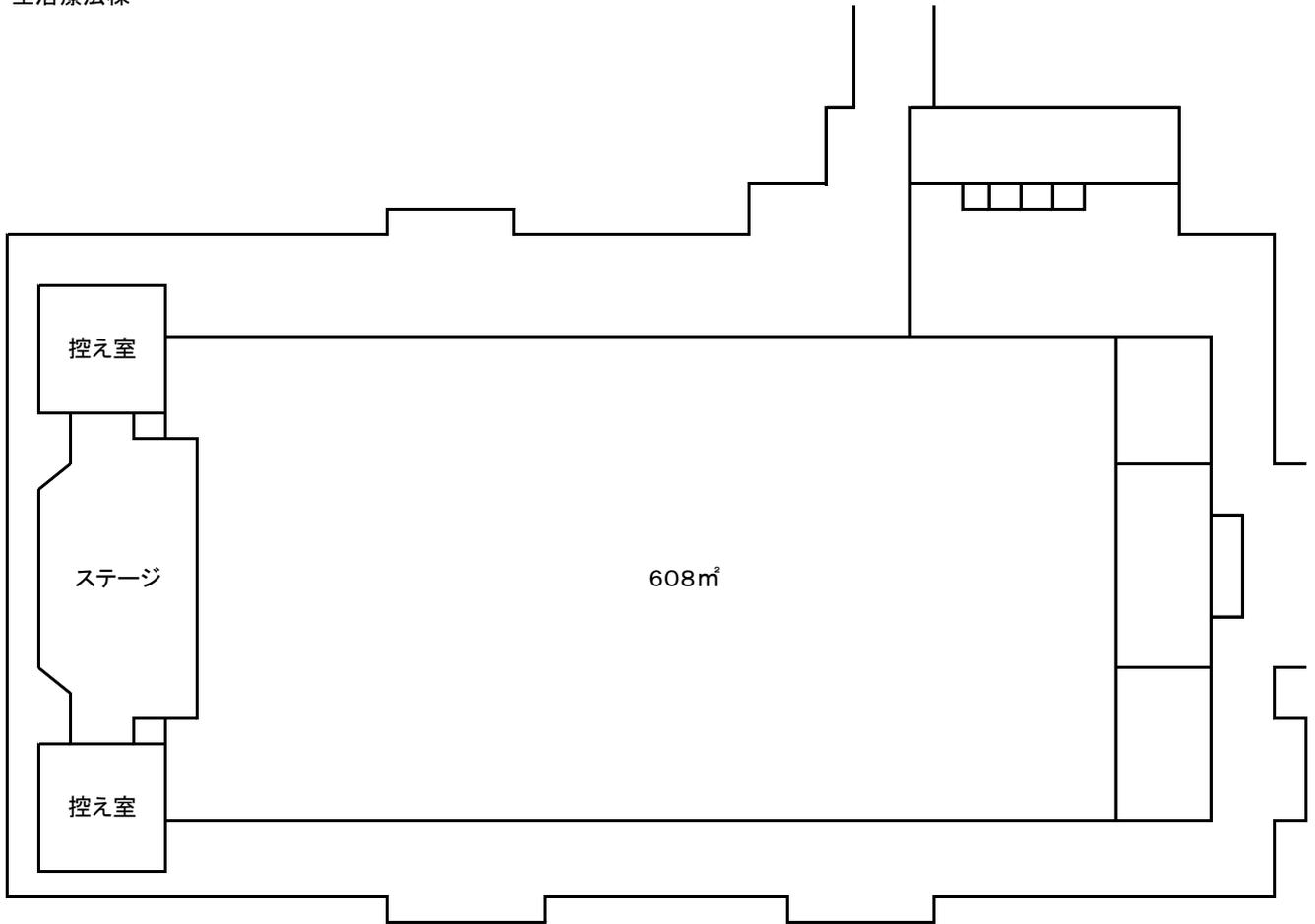
元1病棟



元2病棟

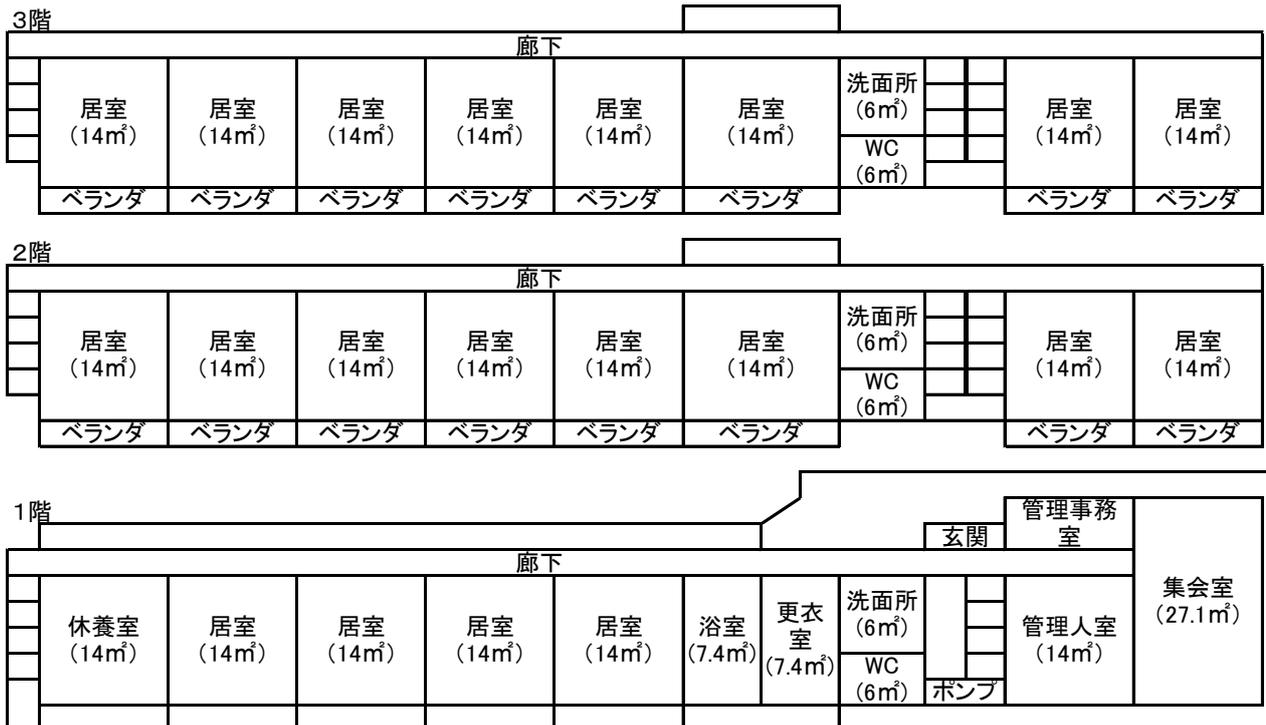


生活療法棟



看護師宿舎

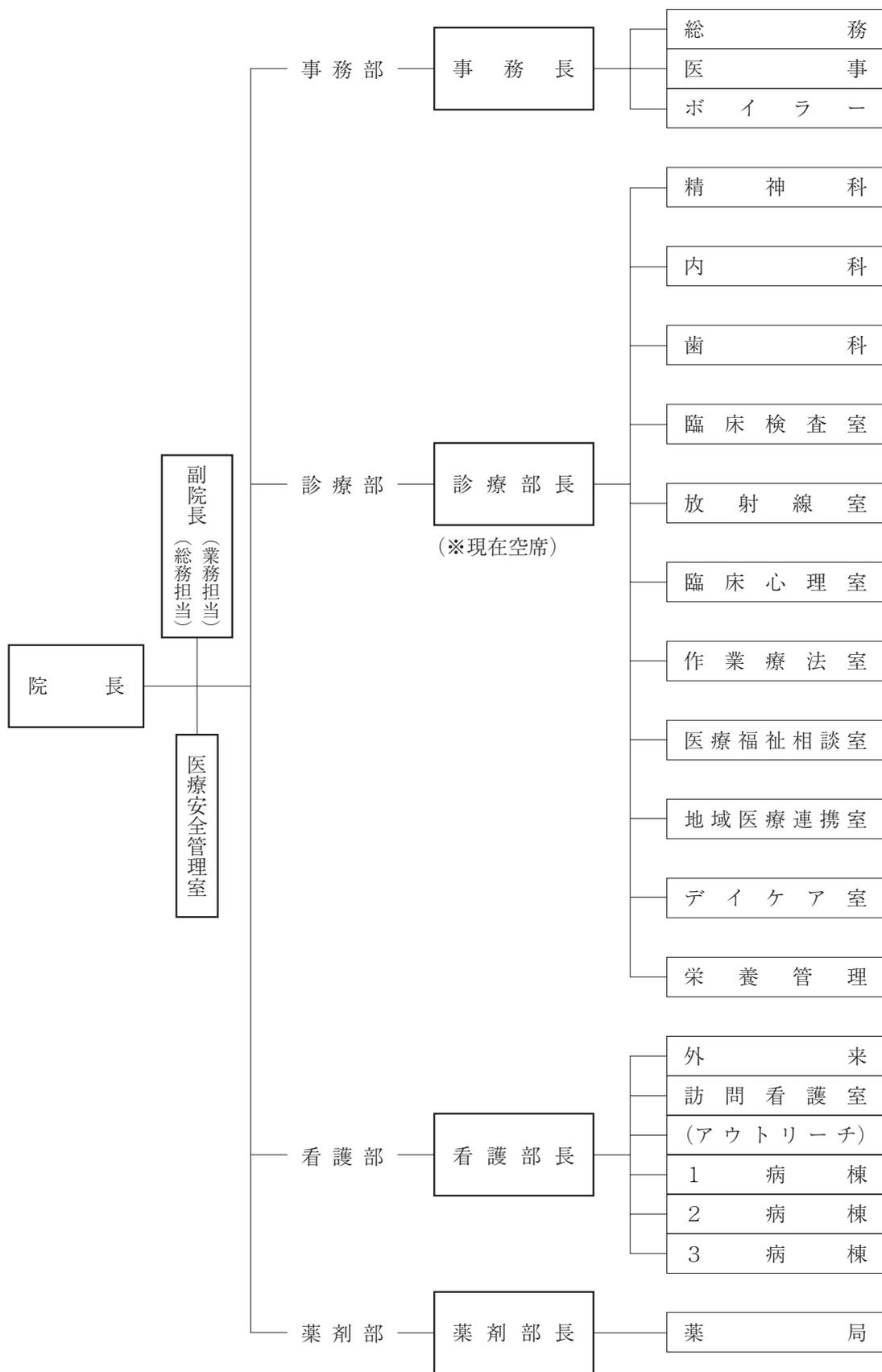
(定員: 20室 × 2人 = 40人)



### 3 組織・職員配置

3-(1) 組織・機構

平成28年6月1日現在



3 - (2) 職員配置状況

平成28年6月1日現在

職 種		定 数 職 員			嘱・委 託職員	定数外 職 員	合 計
		事務吏員	技術吏員	技労職員			
事務部	一般事務	5				1	6
	医事事務	2			2		4
	ボイラー技士			1			1
	運 転 手				2		2
診 療 部	精神科医師		5				5
	内科医師		1				1
	歯科医師				1		1
	医療相談員	4				1	5
	作業療法士		5				5
	検査技師		2				2
	放射線技師		1				1
	心理判定員		3			1	4
	看護師		5				5
	栄養士		2				2
	調理員			5		9	14
	給食員					2	2
看護部	看護師		83			1	84
	准看護師		4			4	8
	看護助手						0
薬剤部	薬剤師		2				2
	薬事事務					2	2
合 計		11	113	6	5	21	156

※診療部の看護師（デイケア3・地域医療連携室2 計5名）

【看護部職員配置】

職 種	区 分		看 護 師		准看護師		看 護 助 手		合 計
	男	女	男	女	男	女			
1 病棟	10	14	1					25	
2 病棟	6	18	2					26	
3 病棟	2	12	1	4				19	
外 来		13						13	
訪問看護	2	7						9	
合 計	20	64	4	4				92	

平成28年3月31日現在

※入院患者	
定 床	実数
1病棟 (44)	33
2病棟 (48)	32
3病棟 (57)	47
149	112

### 3 - (3) 院内設置各種委員会

平成28年6月1日現在

#### ① 法令等によるもの

##### ア 経営改善委員会（毎月第2、4木曜日開催）

病院経営の改善策を検討し患者サービスの向上と病院の合理的な管理経営の実現を図る。

【構成】院長、副院長（総務・業務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任

##### イ 衛生委員会（月1回開催）

職員の健康管理及び健康保持増進対策並びに公務災害の防止対策等を図る。

【構成】院長、衛生管理者、事務長、事務次長、矢吹病院分会代表3名、事務部総務

##### ウ 薬事委員会（年4回開催）

医薬品等取扱業務の適正かつ効率的な運営方法等を図る。

【構成】院長、副院長（総務・業務）、事務長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員

##### エ 医療安全管理委員会（毎月第3月曜日開催）

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供を図る。

【構成】院長、副院長（総務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部主任主査、各看護師長、各部門主任

##### オ 院内感染・褥瘡対策委員会（毎月第3火曜日開催）

院内における感染症の予防及び褥瘡対策等の効果的、効率的な執行を図る。

【構成】院長、副院長（業務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、各看護師長、各部門主任

##### カ 防災対策委員会（随時開催）

火災、震災、その他の災害の予防及び人命の安全並びに災害の防止を図る。

【構成】主任者会議構成メンバーに同じ

##### キ 医療ガス安全管理委員会（随時開催）

医療ガスの安全な管理を図る。

【構成】副院長（総務・業務）、事務長、看護部長、薬剤部長、各病棟師長

##### ク 栄養管理委員会（年4回開催）

患者に対し療養上必要な栄養管理を適切な形態において行う。

【構成】副院長（業務）、事務次長、看護部長、各病棟看護師長、ダイケア主任、OT主任、薬剤主任、栄養管理主任、栄養管理主任調理員

##### ケ 器械備品整備計画調整会議（随時開催）

器械備品の整備に関し、適正な執行を図る。

【構成】経営改善委員会構成メンバーに同じ

##### コ 行動制限最小化委員会（月1回開催）

入院中の患者の行動制限の適切性及び妥当性を検討し基本的人権を擁護する。

【構成】副院長（総務）、精神保健福祉士、事務部医事主任、各病棟師長、医療安全看護師長、行動制限最小化認定看護師

② 病院独自に設置しているもの

ア 主任者会議（毎月第3月曜日開催）

各部門への指示・連絡及び各部門の意見・連絡調整を行い、円滑な病院運営を図る。

【構成】 院長、副院長（総務・業務）、事務長、事務次長、看護部長、薬剤部長、事務部医事主任、医局全員、各看護師長、各部門主任

イ 研究倫理委員会（随時開催）

当院の研究者等が人間を対象とした研究及び医療行為を行う場合、倫理的配慮を図る。

【構成】 副院長（総務）、事務長、看護部長、医学分野以外の学識経験者2名

ウ 患者サービス向上委員会（2ヶ月1回開催）

当院における患者サービス及び院内環境の向上を図る。

【構成】 副院長（業務）、看護部長、医師、作業療法士、医療相談員、外来・各病棟看護師長、事務次長、事務部総務・医事

エ コンプライアンス委員会（随時開催）

当院における職員の法令遵守の意識の高揚を図る。

【構成】 主任者会議構成メンバーに同じ

オ 輸血療法委員会（随時開催）

輸血療法に関する事項を検討し、診療体制の確立に寄与する。

【構成】 副院長（業務）、薬剤部長、事務部医事主任、医療安全室、検査室、3病棟師長

## 4 財務状況

### 4-1(1) 収支決算状況

(単位：千円)  
(税込)

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
病院事業収益	1,575,153	1,867,286	1,731,393	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,730,601	1,713,526
医業収益	973,461	1,097,507	969,855	1,061,653	951,776	1,096,093	984,203	1,038,257	920,589	924,611
入院収益	771,470	808,157	744,893	714,950	702,701	829,214	692,378	686,593	665,739	625,567
外来収益	150,019	153,791	162,326	162,874	156,412	162,204	167,534	172,960	177,965	192,414
その他医業収益	51,972	135,559	62,636	183,829	92,662	104,675	124,290	178,704	76,885	106,630
医業外収益	601,325	769,765	758,248	758,894	756,266	645,890	704,122	699,596	809,267	786,309
補助金・負担金	598,345	767,114	756,694	756,253	754,600	644,371	701,298	697,640	767,936	742,270
患者外給食収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他医業外収益	2,980	2,651	1,554	2,641	1,666	1,519	2,815	1,956	41,331	4,663
特別利益	367	14	3,290	8,559	1,067	317	775	1,926	745	2,605
病院事業費用	1,575,153	1,867,286	1,731,393	1,829,106	1,709,108	1,742,300	1,689,100	1,739,779	1,770,383	1,713,526
医業費用	1,504,704	1,791,226	1,706,279	1,804,675	1,686,467	1,720,210	1,678,571	1,731,833	1,652,665	1,686,187
給与	1,060,756	1,327,060	1,271,993	1,377,826	1,250,429	1,265,690	1,258,701	1,315,593	1,217,260	1,262,431
材料	156,130	165,355	169,600	170,105	163,082	183,727	169,041	174,680	174,826	178,256
経費	151,928	152,635	137,836	140,396	138,061	149,579	138,423	144,743	155,949	142,389
減価償却	119,874	129,697	110,954	95,168	116,562	90,623	91,932	75,684	81,975	79,656
資産減耗	7,925	4,599	1,778	6,252	4,532	15,126	3,204	1,229	3,486	2,617
研究費	8,091	11,880	14,118	14,928	13,800	15,465	17,199	19,904	19,169	20,338
医業外費用	70,116	74,046	24,179	23,207	22,386	20,829	7,486	6,442	5,216	4,520
支払利息	70,116	62,066	12,199	11,227	10,406	8,849	7,486	6,442	5,216	4,520
繰延勘定償却	0	11,980	11,980	11,980	11,980	11,980	0	0	0	0
特別損失	333	2,014	935	1,224	255	1,261	3,044	1,504	112,502	22,818

(単位：千円)  
(税抜き後)

4-(2) 経営分析

項目	算式	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
病床利用率(%)	$\frac{\text{年延入院患者数} \times 100}{\text{年延病床数}}$	56.5	61.8	74.4	70.6	69.2	79.5	66.9	65.3	62.1	78.6
入院外来患者比率(%)	$\frac{\text{年延外来患者数} \times 100}{\text{年延入院患者数}}$	25.4	25.3	27.7	27.9	28.5	24.1	30.3	30.2	31.6	35.4
患者一人一日当り医療収入	入院(円)	12,734	13,130	13,310	13,469	13,504	13,839	13,746	13,992	14,264	14,343
	外来(円)	9,768	9,875	10,455	10,983	10,553	11,224	10,959	11,678	12,046	12,438
患者一人一日当り薬品費(円)	$\frac{\text{薬品費}}{\text{年延入院外来患者数}}$	1,400	1,461	1,616	1,746	1,691	1,719	1,822	1,931	2,030	2,191
入院患者一人一日当りの給食材料費(円)	$\frac{\text{患者給食材料費}}{\text{年延入院患者数}}$	719	731	779	795	766	723	753	774	815	850
医業収益に対する職員給与費の割合(%)	$\frac{\text{職員給与費} \times 100}{\text{医業収益}}$	108.9	120.9	131.2	129.8	131.4	115.5	127.9	126.7	132.2	136.5
病床百床当り職員数(人)	$\frac{\text{年度末職員数} \times 100}{\text{運用病床数}}$	58.4	64.6	73.3	63.9	60.6	60.3	61.9	62.4	62.1	89.4

## 5 患者の状況

### 5- (1) 入退院及び外来患者の推移

区 分 年 度	入 院						外 来		
	病床数	入 院 患者数	退 院 患者数	延入院 患者数	一日平均 入院患者数	病 床 利用率	新 患 患者数	延外来 患者数	一日平均 外来患者数
平成18年度	294	60	67	60,583	166.0	56.5	330	15,358	62.7
平成19年度	206	66	66	61,551	168.2	61.8	440	15,574	63.6
平成20年度	206	51	69	55,966	153.3	74.4	366	15,518	63.9
平成21年度	206	47	50	53,083	145.4	70.6	323	14,821	61.2
平成22年度	206	105	64	52,035	142.6	69.2	270	13,814	56.8
平成23年度	206	96	133	59,917	163.7	79.5	434	14,451	59.2
平成24年度	206	80	93	50,368	138.0	67.0	427	15,281	62.3
平成25年度	206	130	135	49,071	134.4	65.3	205	14,804	60.7
平成26年度	206	140	137	46,673	127.9	62.1	211	14,762	60.5
平成27年度	149	160	180	43,613	119.2	78.6	293	15,454	63.6

※外来新患者数は、平成24年度までは一部初診も含んだ患者数で平成25年度以降は、新患のみの患者数である。

### 5- (2) 入院患者の経費区分の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、( )内は%

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
精神保健法	6( 3.7)	5( 3.0)	4( 2.7)	4( 2.8)	6( 3.3)	1( 0.8)	5( 3.7)	3( 2.3)	2( 1.5)	2( 1.8)
生活保護法	17(10.4)	10( 6.1)	9( 6.2)	8( 5.6)	17( 9.2)	8( 5.4)	7( 5.2)	15(11.6)	11( 8.3)	16(14.3)
国 保	98(59.8)	101(61.6)	87(59.6)	90(62.9)	111(60.3)	99(67.3)	84(62.7)	77(59.7)	84(63.3)	68(60.7)
社 保	18(11.0)	23(14.0)	13( 8.9)	12( 8.4)	21(11.4)	14( 9.5)	17(12.7)	14(10.9)	12( 9.1)	12(10.7)
後期高齢者医療	25(15.2)	25(15.2)	33(22.6)	29(20.3)	29(15.8)	25(17.0)	21(15.7)	19(14.7)	21(15.9)	14(12.5)
そ の 他	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	1( 0.8)	2( 1.5)	0( 0.0)
合 計	164(100)	164(100)	146(100)	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)

### 5- (3) 年度末入院形態別在院患者数の推移

各年度3月31日現在、 単位：人、( )内は%

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
任意入院	86(52.4)	83(50.6)	67(45.9)	57(39.9)	89(48.4)	59(40.1)	44(32.8)	53(41.1)	51(38.6)	44(39.3)
医療保護入院	72(43.9)	77(47.0)	75(51.4)	82(57.3)	89(48.4)	87(59.2)	85(63.5)	72(55.8)	77(58.3)	66(58.9)
措置入院	6( 3.7)	4( 2.4)	4( 2.7)	4( 2.8)	6( 3.2)	1( 0.7)	5( 3.7)	3( 2.3)	2( 1.5)	2( 1.8)
緊急措置入院	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)
そ の 他	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	0( 0.0)	1( 0.8)	2( 1.5)	0( 0.0)
合 計	164(100)	164(100)	146(100)	143(100)	184(100)	147(100)	134(100)	129(100)	132(100)	112(100)

5-(4) 疾患別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、( )内は%

統 合	平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
失 調 症 (F2)	86	47	85	52	75	51	71	55	98	64	63	64	60	50	59	47	59	38	58	34
	133(81.1)		137(83.5)		126(86.3)		126(88.1)		162(88.1)		127(86.3)		110(82.2)		106(82.1)		97(73.5)		92(82.1)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
うつ 病 (F3)	9	4	3	4	6	3	2	3	3	5	2	5	3	3	5	2	3	7	1	1
	13(7.9)		7(4.3)		9(6.2)		5(3.5)		8(4.4)		7(4.7)		6(4.5)		7(5.4)		10(7.6)		2(1.8)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
脳器質性精神病 (F0)	1	1	4	4	0	2	3	1	1	0	2	0	1	1	2	1	2	2	3	1
	2(1.2)		8(4.9)		2(1.4)		4(2.8)		1(0.5)		2(1.4)		2(1.5)		3(2.3)		4(3.0)		4(3.6)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
中毒性精神病 (F1)	3	0	2	0	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	2	0	2	1	1	0
	3(1.8)		2(1.2)		0(0.0)		0(0.0)		3(1.6)		1(0.7)		2(1.5)		2(1.6)		3(2.3)		1(0.9)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
その他の精神病	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	2	2	2	3	3
	3(1.8)		1(0.6)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		2(1.4)		3(2.2)		3(2.3)		3(2.3)		4(3.6)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
精神発達遅滞 (F7)	3	2	3	2	3	1	3	3	4	4	4	2	3	3	5	5	5	5	4	4
	5(3.0)		5(3.0)		4(2.7)		6(4.2)		6(3.3)		6(4.1)		7(5.2)		6(4.7)		9(6.8)		7(6.2)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
人格障害 (F6)	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1(0.6)		1(0.6)		2(1.4)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
神経症 (F4)	0	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	3	0	0
	1(0.6)		1(0.6)		1(0.7)		2(1.4)		1(0.5)		0(0.0)		1(0.7)		0(0.0)		4(3.0)		0(0.0)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
てんか (G4)	2	1	1	1	1	1	0	0	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2
	3(1.8)		2(1.2)		2(1.4)		0(0.0)		3(1.6)		2(1.4)		3(2.2)		2(1.6)		2(1.5)		2(1.8)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
その他の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)		0(0.0)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	
合 計	107	57	100	64	87	59	80	63	111	73	75	72	73	61	77	52	76	56	72	40
	164(100)		164(100)		146(100)		143(100)		184(100)		147(100)		134(100)		129(100)		132(100)		112(100)	
	計		計		計		計		計		計		計		計		計		計	

## 5 - (5) 年齢別性別入院患者数の推移

各年度3月31日現在、単位：人、( )内は%

年 度	区 分	~19歳	20 ~29歳	30 ~39歳	40 ~49歳	50 ~59歳	60 ~69歳	70歳~	合 計
	平成18年度	男	1	2	7	15	31	33	18
	女	0	0	2	8	13	23	11	57
	計	1	2	9	23	44	56	29	164
	%	(0.6)	(1.2)	(5.5)	(14.0)	(26.8)	(34.1)	(17.7)	(100)
平成19年度	男	0	2	8	11	32	27	20	100
	女	0	2	2	8	14	25	13	64
	計	0	4	10	19	46	52	33	164
	%	(0.0)	(2.4)	(6.1)	(11.6)	(28.0)	(31.7)	(20.1)	(100)
平成20年度	男	0	3	7	11	28	18	20	87
	女	0	1	2	6	15	20	15	59
	計	0	4	9	17	43	38	35	146
	%	(0.0)	(2.7)	(6.2)	(11.6)	(29.5)	(26.0)	(24.0)	(100)
平成21年度	男	0	2	5	10	23	19	21	80
	女	0	2	3	8	17	19	14	63
	計	0	4	8	18	40	38	35	143
	%	(0.0)	(2.8)	(5.6)	(12.6)	(28.0)	(26.6)	(24.5)	(100)
平成22年度	男	1	5	5	12	22	41	25	111
	女	0	4	3	9	14	24	19	73
	計	1	9	8	21	36	65	44	184
	%	(0.5)	(4.9)	(4.4)	(11.4)	(19.6)	(35.3)	(23.9)	(100)
平成23年度	男	1	4	3	9	16	20	22	75
	女	0	5	5	9	14	18	21	72
	計	1	9	8	18	30	38	43	147
	%	(0.7)	(6.1)	(5.4)	(12.2)	(20.4)	(25.9)	(29.3)	(100)
平成24年度	男	0	6	2	6	18	24	17	73
	女	1	2	5	4	10	20	19	61
	計	1	8	7	10	28	44	36	134
	%	(0.7)	(6.0)	(5.2)	(7.5)	(20.9)	(32.8)	(26.9)	(100)
平成25年度	男	0	7	6	7	18	23	16	77
	女	1	1	5	2	6	20	17	52
	計	1	8	11	9	24	43	33	129
	%	(0.8)	(6.2)	(8.5)	(7.0)	(18.6)	(33.3)	(25.6)	(100)
平成26年度	男	1	4	4	11	17	23	16	76
	女	1	1	5	6	5	22	16	56
	計	2	5	9	17	22	45	32	132
	%	(1.5)	(3.8)	(6.8)	(12.9)	(16.7)	(34.1)	(24.2)	(100)
平成27年度	男	1	4	2	10	20	23	12	72
	女	0	2	4	3	5	13	13	40
	計	1	6	6	13	25	36	25	112
	%	(0.9)	(5.4)	(5.4)	(11.6)	(22.3)	(32.1)	(22.3)	(100)

5 - (6) 入院患者の在院期間別割合の推移

各年度3月31日現在

在院期間	年 度		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	人	%										
3ヶ月未満	人		13	9	10	8	52	20	14	17	33	26
	%		(7.9)	(5.5)	(6.8)	(5.6)	(28.3)	(13.6)	(10.4)	(13.2)	(25.0)	(23.2)
3ヶ月～6ヶ月	人		2	7	1	4	5	10	12	16	16	10
	%		(1.2)	(4.3)	(0.7)	(2.8)	(2.7)	(6.8)	(9.0)	(12.4)	(12.1)	(8.9)
6ヶ月～1年	人		4	12	7	7	7	7	7	10	7	10
	%		(2.4)	(7.3)	(4.8)	(4.9)	(3.8)	(4.8)	(5.2)	(7.8)	(5.3)	(8.9)
1年～3年	人		18	16	20	17	10	14	19	19	25	21
	%		(11.0)	(9.8)	(13.7)	(11.9)	(5.4)	(9.5)	(14.2)	(14.7)	(18.9)	(18.8)
3年～5年	人		27	23	8	10	16	11	5	5	6	10
	%		(16.5)	(14.0)	(5.5)	(7.0)	(8.7)	(7.5)	(3.7)	(3.9)	(4.5)	(8.9)
5年～10年	人		28	32	37	35	28	27	27	12	10	10
	%		(17.1)	(19.5)	(25.3)	(24.4)	(15.2)	(18.4)	(20.2)	(9.3)	(7.6)	(8.9)
10年～15年	人		21	17	18	15	16	15	14	21	18	11
	%		(12.8)	(10.4)	(12.3)	(10.5)	(8.7)	(10.2)	(10.4)	(16.3)	(13.6)	(9.8)
15年～20年	人		14	15	14	14	16	13	7	7	2	4
	%		(8.5)	(9.1)	(9.6)	(9.8)	(8.7)	(8.8)	(5.2)	(5.4)	(1.5)	(3.6)
20年～30年	人		20	18	19	21	22	19	17	10	8	6
	%		(12.2)	(11.0)	(13.0)	(14.7)	(12.0)	(12.9)	(12.7)	(7.7)	(6.1)	(5.4)
30年以上	人		17	15	12	12	12	11	12	12	7	4
	%		(10.4)	(9.1)	(8.2)	(8.4)	(6.5)	(7.5)	(9.0)	(9.3)	(5.3)	(3.6)
合 計	人		164	164	146	143	184	147	134	129	132	112
	%		(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)

5 - (7) 平均在院日数の推移

	H.18	H.19	H.20	H.21	H.22	H.23	H.24	H.25	H.26	H.27
矢吹病院	954	933	933	1,094	616	523	582	370	337	257
福 島 県	385	371	381	360	335	298	331	326	329	-
全 国	320	318	313	307	301	278	292	285	281	-

5 - (8) 在院期間別年度内退院患者の推移

(上段：実人数 下段：%)

	平 成 18年度	平 成 19年度	平 成 20年度	平 成 21年度	平 成 22年度	平 成 23年度	平 成 24年度	平 成 25年度	平 成 26年度	平 成 27年度
1ヶ月 未 満	14 20.9	9 13.6	8 11.6	12 24.0	15 23.4	24 18.0	19 20.4	2 1.5	24 17.5	41 22.8
1ヶ月 ～3ヶ月	22 32.8	22 33.3	18 26.1	17 34.0	27 42.2	30 22.6	23 24.8	8 5.9	45 32.8	56 31.1
3ヶ月 ～6ヶ月	10 14.9	10 15.2	13 18.8	6 12.0	9 14.1	14 10.5	17 18.3	23 17.0	25 18.2	42 23.3
6ヶ月 ～1年	9 13.4	6 9.1	8 11.6	3 6.0	0 0.0	45 33.8	7 7.5	54 40.0	12 8.8	15 8.3
1年 ～3年	3 4.5	3 4.5	4 5.8	3 6.0	7 10.9	3 2.3	8 8.6	27 20.0	10 7.3	12 6.7
3年 ～5年	4 6.0	5 7.6	6 8.7	2 4.0	1 1.6	2 1.5	4 4.3	4 3.0	2 1.5	3 1.7
5年以上	5 7.5	11 16.7	12 17.4	7 14.0	5 7.8	15 11.3	15 16.1	17 12.6	19 13.9	11 6.1
合 計	67 100%	66 100%	69 100%	50 100%	64 100%	133 100%	93 100%	135 100%	137 100%	180 100%

5 - (9) 保健所別入院患者数

平成28年3月31日現在 (単位：人)

保健所名	人 数	保健所名	人 数	保健所名	人 数		
県 北	4	県 中	24	県 南	46		
会 津	2	郡 山 市	8	い わ き	4		
南 会 津	0	相 双	24	県 外	0	合 計	112

5 - (10) その他のクリニカル・インジケーター (臨時指標)

① 再入院率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
A	130	140	160
B	11	11	24
再入院率	8.5%	7.9%	15.0%

$$\frac{B : A \text{ のうち 3 カ月 以内 に 入院 歴 の ある 患者 数}}{A : \text{新 入 院 患 者 数}} \times 100$$

② 残留率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
C	80	130	140
D	13	21	18
残留率	16.3%	16.2%	12.9%

$$\frac{D : C \text{ のうち 1 年 以上 入 院 し た 患 者 数}}{C : \text{前 年 度 の 新 入 院 患 者 数}} \times 100$$

③ 退院率

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
E	147	106	66
F	28	31	26
退院率	19.0%	29.2%	39.4%

$$\frac{F : \text{退 院 患 者 の うち 1 年 以上 入 院 し た 患 者 数}}{E : \text{1 年 以上 の 入 院 患 者 数}} \times 100$$

④ 行動制限施行率

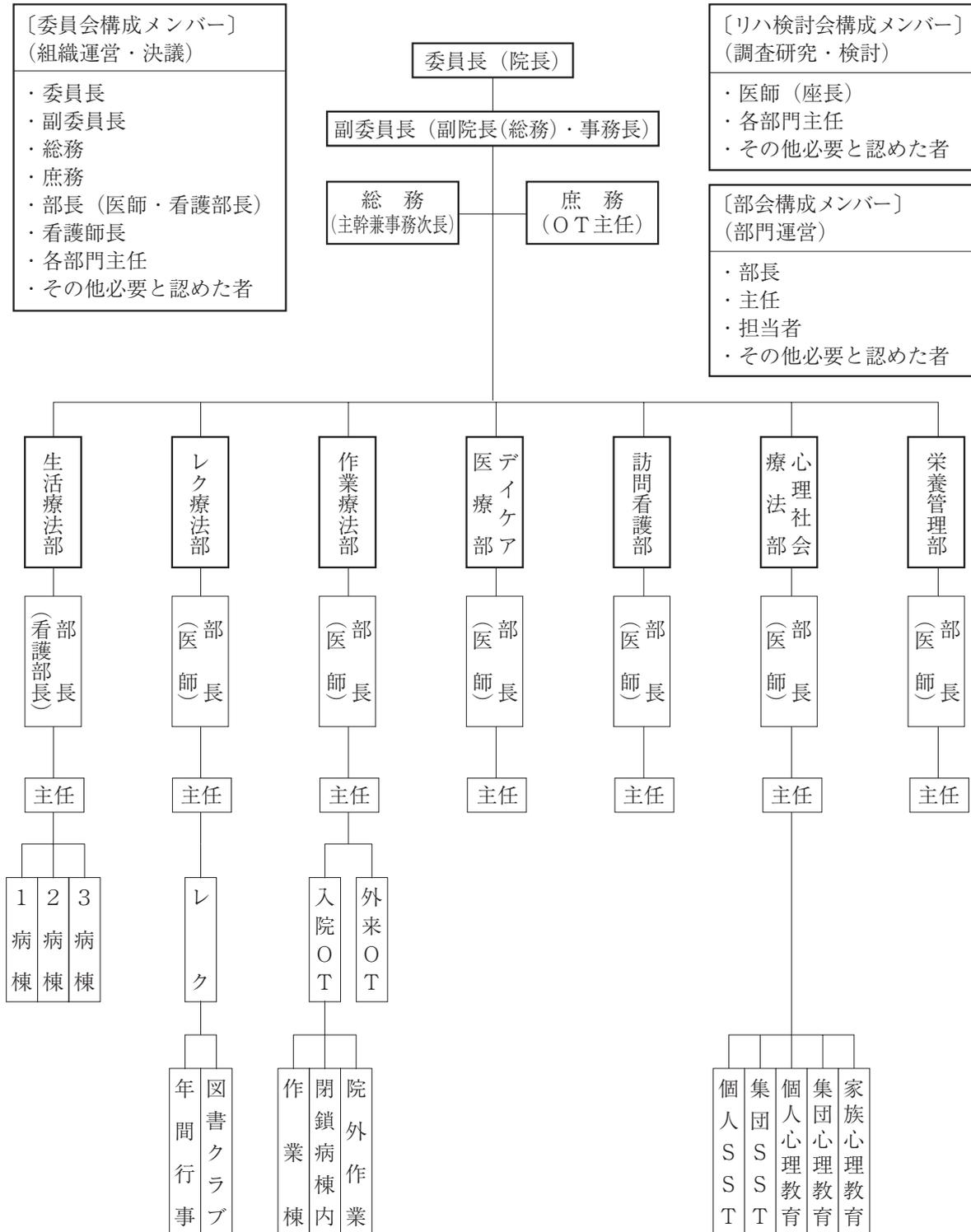
		平成25年度	平成26年度	平成27年度
隔 離	施行日数	4,895	3,569	4,444
	施行率	10.0%	7.6%	10.2%
拘 束	施行日数	166	95	86
	施行率	0.3%	0.2%	0.2%

$$\frac{\text{隔 離 ( 拘 束 ) 施 行 日 数}}{\text{在 院 患 者 数 ( 延 日 数 )}} \times 100$$

## 6 医療関係業務実施状況

### 6-1) リハビリテーション組織

平成 28 年 6 月 1 日現在



## 6 - (2) 生活療法部

A D Lの自立度、患者個々の機能、家族の意向と役割を把握しながら障害に応じた生活技能訓練、服薬指導、コミュニケーション技能を含めた対人技能の獲得のためのトレーニングを行っている。また、生活場面ではこれらを受け持ち看護師が計画に反映させながら生活療法担当者と連携し援助している。また、リハビリテーション組織内の他の療法部や病棟からの問題点を検討している。

## 6 - (3) レクリエーション療法部

### ① 年間行事

病院全体の行事として療養生活に憩いや安らぎの場を提供するとともに、地域との触れあいを重視し開かれた病院を目指す。

#### 【平成27年度実施状況】

実施日	行事内容	参加者
10月25日（日）	矢吹病院まつり	約350名
11月20日（金）	アニマルセラピー	40名

### ② 図書

院内図書館は毎月第2、第4火曜日（14：00～15：00）。平成27年度利用状況は貸し出し17回で、小説が152冊、コミックが171冊、その他1冊の計324冊、利用者95名（小説73名、コミック21名）。

今後も患者のニーズに合った図書の貸し出しに努めていく。

【平成27年度 心理社会療法部実施状況（社会体験・レクリエーション等）】

	1 病 棟	2 病 棟	3 病 棟
	期日・種目	期日・種目	期日・種目
4月		お花見会 歓迎会 14日（火）	散策（花見） 15日（水）
5月			
6月			
7月		流しそうめん 28日（火）	
8月			
9月			
10月		芋煮会 6日（火）	カレー作り 8日（木）
11月			
12月	クリスマス会 15日（火）	クリスマス会 22日（火）	クリスマス会 22日（火）
1月			
2月			
3月		送別会（カラオケ） 15日（火）	送別会 22日（火）

#### 6 - (4) 作業療法部

当院における作業療法も昭和49年実施当初から幾多の変遷を経てきたが、ここ最近の状況としては高齢化や地域移行などに伴う入院患者数の減少により、参加延べ人数減少の傾向がみられている。

平成27年度は病棟閉鎖に伴い室内 OT の減少が目立つ。病棟機能分化に合わせた OT プログラムの見直しを行っている。

##### ① 年度別作業療法実施状況 (単位：延べ人数)

年 度	室内 OT	閉鎖病棟内 OT	外来 OT	合 計
平成18年度	17,060	413		17,473
平成19年度	15,656	355		16,011
平成20年度	13,648	814		14,462
平成21年度	12,979	762		13,741
平成22年度	12,043	847	32	12,922
平成23年度	16,042	875	385	17,302
平成24年度	12,930	749	452	14,131
平成25年度	11,429	890	446	12,765
平成26年度	12,593	1,039	634	14,266
平成27年度	9,584	973	644	11,201

##### ② 週間プログラム

	月	火	水	木	金
9 : 30	作業棟 OT	作業棟 OT	作業棟 OT	作業棟 OT	作業棟 OT
11 : 30			調理実習		
13 : 00	閉鎖病棟内 OT	個別 OT (軽運動)	個別 OT	個別 OT (軽運動)	個別 OT
15 : 00					

##### ア 作業棟 OT

午前中は主に開放病棟の患者を対象に、作業棟を利用した作業療法を行っている。内容としてはペーパークラフト、編み物、裁縫、刺し子、ビーズ手芸、塗り絵、貼り絵、計算ドリル、木工、パソコンの他、カラオケやビデオ、卓球なども含め多様な活動を提供している。

##### イ 個別 OT

火曜日から金曜日の午後は、主に閉鎖病棟の患者を対象に作業棟を利用した作業療法を行っている。内容は午前の作業棟 OT と同様だが、比較的少人数で、より密度の濃い関わりができています。閉鎖病棟により外出等の機会が少ないため、散歩や軽運動を取り入れることで運動不足の解消に努めている。

##### ウ 調理実習

退院を想定した調理実習を行っている。協力しあうグループと、単独での生活を視野に入れた2グループでそれぞれに実施している。

エ 閉鎖病棟内OT

月曜日の午後は、閉鎖病棟の患者への関わりとして、閉鎖病棟内のデイルームを利用した作業療法を行っている。OTスタッフ2名で対応し、材料・道具等を病棟に持ち込んで展開しており、普段OTに参加されていない方も自由に参加できる場を提供している。

オ 外来OT

退院後のフォローを目的に平成22年度よりプログラムとして組み入れている。現在は在宅や近隣の施設などからも参加があり、院内においても定着してきた。

③ 作業療法科学生の受入れ

昭和53年度より各地の作業療法士養成校から学生を受け入れ、臨床実習教育を行っている。

(単位：人)

年度	校名	国仙 リハ	岩手 リハ	東北 文化	郡山 健康	国際 医福	茨城 医療	郡山 明徒	仙台 リハ	健康 大学	東北 福祉	東北 保健	日本 医療	仙台 保健	計
平成18年度		1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	6
平成19年度		1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
平成20年度		-	1	2	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	6
平成21年度		-	1	1	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-	6
平成22年度		-	1	1	1	-	1	-	-	1	1	-	-	-	6
平成23年度		-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
平成24年度		-	1	2	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
平成25年度		-	1	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	5
平成26年度		-	1	1	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	6
平成27年度		-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	1	1	1	6

【注】国仙リハ：国立仙台病院附属リハビリテーション学院  
 岩手リハ：岩手リハビリテーション学院  
 東北文化：東北文化学園大学  
 郡山健康：郡山健康科学専門学校  
 東北福祉：東北福祉大学  
 国際医福：国際医療福祉大学  
 茨城医療：茨城県立医療大学

アイシー：アイシーケア専門学校  
 仙台リハ：仙台リハビリテーション専門学校  
 郡山明徒：専門学校 J MMA ACADEMY 郡山  
 健康大学：健康科学大学  
 東北保健：東北保健医療専門学校  
 日本医療：日本医療科学大学  
 仙台保健：仙台保健福祉専門学校

6-(5) デイケア医療部

平成元年5月からの試行期間を経て、平成3年4月厚生省認可のもとに精神科デイケアを開設した。

① 性別・年齢別

区分	男	女
20才未満	2	9
20～29才	0	0
30～39才	3	1
40～49才	6	5
50～59才	6	3
60～69才	6	5
70才以上	2	0
計	25	23

(平成28年3月末時点)

② 診断病名別

区分	人数
統合失調症	35
気分障害	2
発達障害	4
その他	7
(ADHD、 児童思春期など)	
計	48

(平成28年3月末時点)

③ 実施状況

年度	区分	登録数	実施日数	通所延人数	1日平均参加数
平成18年度		50	245	4,059	16.6
平成19年度		46	245	3,840	15.7
平成20年度		50	243	3,954	16.3
平成21年度		44	242	3,790	15.7
平成22年度		45	243	3,846	15.8
平成23年度		50	244	3,653	15.0
平成24年度		52	245	4,319	17.6
平成25年度		50	244	3,713	15.2
平成26年度		46	243	3,051	12.6
平成27年度		48	251	3,079	12.2

④ プログラム

- ☆創作活動（折紙手芸、パズル、ビーズ手芸 他）
- ☆スポーツ及びレク（ソフトバレー、ゲートボール、カラーリング、スカットボール 他）
- ☆心理教育                      ☆S S T                      ☆栄養教室                      ☆体操
- ☆ミーティング                      ☆就労支援                      ☆当事者研究                      ☆その他 季節の行事、個人面接

8:30	9:30	10:00	10:15	12:00	13:00	15:00	15:30
個別指導 自主活動	体 操	ミー ティ ング	創作活動 自主活動 各種プログラム	昼 食	スポーツ レク	ミーティング	

6-(6) 訪問看護部

(1) 訪問看護

当院の訪問看護は外来治療の一環として平成8年に開始され、各々のセクションの協力を得ながら活動を続けている。

精神医療の動向の変化や、患者の地域生活を促進する動きにより、訪問看護の必然性を背景に当院の訪問看護の件数も徐々に増加していった。それを受けて、平成19年に訪問看護室が設立され人員も増員し、現在では9名が配置され活動をしている。

ケア会議や小会議など必要時に随時開催し、他職種や地域との調整・連携を図り、充実した訪問看護の提供を目指している。平成27年4月から、未治療、治療中断、ひきこもり、長期入院者の退院後、重度の精神障がい者を対象に、幅広く、質の高い支援を提供するアウトリーチを開始している。

① 訪問看護登録者数【平成27年：119名】

② 年度別訪問看護実施状況

年度	区分	訪問看護件数	年度	区分	訪問看護件数
平成12年度		671	平成20年度		1,776
平成13年度		747	平成21年度		1,820
平成14年度		780	平成22年度		1,688
平成15年度		837	平成23年度		1,728
平成16年度		836	平成24年度		1,860
平成17年度		1,013	平成25年度		1,840
平成18年度		1,259	平成26年度		2,225
平成19年度		1,405	平成27年度		2,504

(退院前訪問看護を含む)  
(                      “                      )  
(                      “                      )

③ 性別・年代別内訳

区 分	男	女
10～19才	0	1
20～29才	2	0
30～39才	2	4
40～49才	12	12
50～59才	21	13
60才以上	27	25
計	64	55

④ 地域別内訳

区 分	女
矢吹町	32
白河市	27
須賀川市	15
石川町	10
西郷村	4
泉崎村	7
中島村	5
玉川村	2
棚倉町	2
郡山市	5
平田村	3
田村市	1
鏡石町	3
天栄村	1
塙町	1
矢祭町	1
計	119

⑤ 診断病名別内訳

区 分	人 数
統合失調症	99
躁うつ病	6
うつ病	3
精神遅滞	3
非定型精神病	1
てんかん	1
老人性精神病	1
発達障害	2
覚醒剤中毒後遺症	1
強迫性障害	1
不安神経症	1
計	119

(2) アウトリーチ

平成27年5月から未治療や治療中断、ひきこもり、長期入院後の退院、対応が困難な方を対象に病院の専門職がチームを組んで、地域の保健や福祉と協働で訪問支援を行っている。

対象者との関係構築を行いながら、ご本人や周囲の方の困りごとの解決や医療へ繋ぐこと、本人の希望が叶うというような豊かな生活への支援など幅広く、質の高い支援を提供している。

①相談件数 48件

②事例検討件数 27件

③訪問支援件数 25件（延251回）

④ 相談件数の年齢別内訳

年 齢	件 数
～19才	1
20～29才	2
30～39才	7
40～49才	5
50～59才	6
60～69才	11
70才～	10
不 明	6

⑤ 相談件数の種類別内訳

種 類	件 数
治 療 中 断	13
ひきこもり	11
困 難 ケー ス	10
近 所 ト ラ ブ ル	3
未 治 療	2
長 期 入 院 後	1
そ の 他	8

## 6-(7) 心理社会療法部

当院では平成19年度より、長期入院患者の退院促進を目的に様々なプログラムを実施してきた。平成22年度に心理教育部が発足され、ア集団心理教育、イ個人心理教育、ウ家族心理教育を3本柱とし『いつでもどこでもだれでも心理教育』をスローガンに活動してきた。さらに、平成25年度には心理教育とSSTを統合した心理社会療法部が発足され、「病気や薬に対する正しい考えや知識の獲得、コミュニケーション能力を高める事で、よりよい生活を自主的に送られるようになる事」を目的とし新たな活動をしている。また昨年度から精神疾患を持ちながらも社会生活を送っている方と入院患者さんが双方向的に話せる場としニコの会の活動も始めた。

家族心理教育では家族心理教育ネットワークより平成24年度に4名、平成26年度に3名がインストラクターの認定を受け、県内外の施設や病院を対象に「標準版家族心理教育研修会」を開催している。

### 【平成27年度実績報告】

#### ア 集団心理教育

昨年度よりクローズド形式をニコの会に変更しニコの会（全病棟患者さん、DC通所中または外来通院患者さんを対象にお互いが双方向的に話し合える場）とオープン形式（各病棟の全患者さんを対象に病気について広く関心を持ってもらう、あるいは自由に話せる場として各病棟単位で行う）に分けて実施した。

##### i ニコの会

当院入院またはDCや外来に通所している患者さん誰でも参加できる集まりになっている。テーマに沿って自分の思いや経験、アドバイスやアイデアなど自由に話せる場とし、昨年9月から活動を開始し修正しながらの実施となった。

実施回数：15回 延べ参加人数：282人 平均参加人数：18.8人

##### ii オープン

昨年度から、1病棟は急性期閉鎖病棟、2病棟は慢性期閉鎖病棟、3病棟は社会復帰病棟という体制となり、各病棟の機能にあった活動が出来るよう実施してきた。

1病棟 時期や季節にあった疾病についての情報提供を実施（全患者対象）

2病棟 心理：2回 SST：9回 レク：5回（季節行事） 外出：2回  
延べ人数：243人 平均人数：14.2人

3病棟 心理：19回 レク：4回 延べ人数：483人 平均人数：23人

#### イ 個人心理教育

急性期病棟や個別ニーズの高い患者様を対象とし「薬剤管理指導」「退院準備プログラム」を実施した。

##### i 薬剤管理指導

1病棟 実施人数：29人 実施回数：40回

2病棟 実施人数：12人 実施回数：16回

3病棟 実施人数：13人 実施回数：15回

##### ii 退院準備プログラム

1病棟 実施人数：30人 実施回数：85回

2病棟 実施人数：12人 実施回数：96回

3病棟 実施人数：2人 実施回数：8回

#### ウ 家族心理教育

平成23年4月より入院または退院患者様の家族を対象に、毎月第4土曜日の午後開催している。教育セッションとグループワークを通し家族の健康度、対処技能の向上を目指し、1クール5回の設定で、昨年度も3クール実施した。セミクローズドの形式で毎月平均4～5の家族が参加され、家族同士の体験の共有やアイデアなど「なんでも話せる場」として定着してきた。新規参加の家族も増えてきており、参加者から相談会に対しての高い評価をいただき、毎回充実したものになっている。

#### エ 思春期家族教室

平成26年1月より思春期外来通院患者様の家族を対象に開始した。県南の児童相談所や他の病院から紹介されるケースも多く、地域への周知がされてきている。昨年12月から参加しやすい時間帯として午前10時（毎月第4土曜）からに変更となった。

#### 【平成28年度活動概要】

##### 心理社会療法部

昨年度より病棟体制が変わり、機能別をふまえた活動内容に変更してきた。今年度はさらに各病棟の機能にあった活動を充実させていく。また「病気や薬に対する理解を深め、再発防止のための方法、社会資源の利用など学習機会を設けることにより、治療効果の強化と再発防止策の一助とする」「病気や薬に対する正しい考えや知識の獲得、コミュニケーション能力を高める事で、よりよい生活を自主的に送られるようになる」ことを目的に、ピアと交流の場を増やしリカバリー志向が持てるような活動をしていきたい。

#### 6- (8) 栄養管理部

病院における食事は入院患者様の楽しみのひとつであり、明日への希望の源であると同時に治療の一環として極めて重要な位置を占めている。

管理栄養士が食事摂取基準に準じ患者様個人の状態に合わせた献立を作成し、調理方法、味付け、盛り付け、配膳等については患者様の食習慣や嗜好を考慮し、安全でおいしい食事の提供を行っている。七夕やクリスマス、節分等の季節の行事や院内レクリエーションの際には、内容に合わせて行事食を取り入れている。

また、患者様の栄養状態を把握し、必要な栄養量が充足できるよう他職種と協同し、食事形態等の検討や食事相談を行っている。

食事を通して正しい食習慣のあり方や生活習慣病の予防について理解を深めていただくため、病棟やデイケアの協力を得て、管理栄養士が定期的に栄養教室を開催している。

生活習慣病等の改善や食事療法に関しての知識の習得が必要な方に対しては、医師の指示のもと個別に管理栄養士が栄養指導を行っている。

## 7 医療安全管理室

### 7-(1) 基本方針

患者様、家族の安全を最優先に考え、病院職員の安全確保も忘れることなく安全で質の高い医療の提供に努めます。

### 7-(2) 医療安全の取り組み

当院は、平成16年4月より医療安全委員会、及びリスクマネジメント部会を設置し医療安全に努めてきました。また、平成19年9月より医療安全管理室が新たに設置し、専任リスクマネージャーを配置しました。(当院名称ゼネラルリスクマネージャー：GRM)

#### ① 医療安全管理室の役割

- ア 予防：医療事故防止対策のための院内研修の実施。
- イ 情報管理：インシデントレポートからのリスク分析、情報収集・広報。
- ウ コンサルテーション：職員・患者様との面談、問題解決の支援。
- エ コーディネート：院内の各部署間、職種間の調整。時には院外の組織、専門職との調整。
- オ アドバイザー：組織のリスクマネジメント管理に関する意思決定の支援。

#### ② 活動内容

インシデント報告への対応

- ・ インシデントレポート報告の収集、分析、具体的な改善案の提案、分析結果のフィードバックと収集結果の管理を行います。
- ・ 医療安全に関する現場の実態調査と予防活動に取り組みます。
  - i：現場の情報収集及び実態調査、定期的なパトロール・点検マニュアルの遵守状況の点検をします。
  - ii：マニュアルの点検と見直しの提言をします。

#### ③ 医療安全に関する情報管理及び情報発信への取り組み

- ・ 医療事故及び医療事故防止に関する最新情報の把握と職員への周知を行います。(定期的にニュースを発行する。医療安全に関する情報や訴訟問題等々)

#### ④ 医療安全管理のための院内教育研修活動

- ・ 個々の職員の安全に対する意識、安全に業務を遂行するための技能やチームの一員としての意識向上を図るため医療に係る安全管理のための基本的な考え方及び具体策について、研修を行います。(医療安全研修会を定期的に開催する)

#### ⑤ 各種医療安全に関する会議の参画、運営支援を行う。

平成27年度インシデントレポート件数について (アクシデントレポートは別集計)

#### ◆レベル別件数

レベル区分	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
0		46	41	42	47	36	18	32	28	46	54	40	33	463	38.6
1		58	45	39	38	41	36	33	33	35	22	27	31	438	36.5
2		14	19	17	29	21	22	16	31	24	17	25	20	255	21.3
3a		2	8	5	12	4	1	4	7	5	3	5	2	58	4.8
計		120	113	103	126	102	77	85	99	110	96	97	86	1,214	101.2

※平成26年度インシデントレポート件数 (1,018件)

インシデント・アクシデントのレベル区分 (報告時点)

	レベル	傷害の持続性	傷害の程度	
インシデント	レベル0	-		エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった。
	レベル1	なし		患者への実害はなかった。(何らかの影響を与えた可能性は否定できない)
	レベル2	一過性	軽度	処置や治療は実施されなかった。(観察強化、バイタルの軽度変化、検査などの必要は生じた)
	レベル3a	一過性	中程度	簡単な処置や治療を要した。(消毒、湿布、鎮痛剤の投与、縫合など)
アクシデント	レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した。(バイタルサインの高度変化、人工呼吸器装着、手術、入院の延長、骨折)
	レベル4a	永続的	軽度～中程度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない。
	レベル4b	永続的	中程度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題は伴う。
	レベル5	死亡		死亡。(原疾患の自然経過によるものを除く)

## 8 医療ソーシャルワーク実施状況

### 8- (1) 面接活動等

【平成27年度実施状況】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 入院時面接	19	8	11	8	10	9	9	16	13	8	6	16	133
2 経済的問題	71	39	46	83	44	43	74	59	33	57	33	48	630
3 地域移行・地域生活支援	143	101	74	107	80	120	147	104	85	125	111	130	1,327
4 家族調整	32	17	8	16	15	12	24	11	11	21	14	17	198
5 受療上・医療機関利用上の相談	47	24	26	8	15	9	36	25	11	5	6	17	229
6 ケース会議	60	21	17	23	15	36	57	80	67	128	75	54	633
7 医療観察法	8	1	0	0	0	9	9	3	1	0	1	1	33
計	380	211	182	245	179	238	356	298	221	344	246	283	3,183

### 8- (2) その他

- ア 心神喪失者等医療観察法に基づく、指定通院医療機関としての援助及び関係機関との連絡調整
- イ 精神科訪問看護、精神科退院前訪問看護等の実施協力
- ウ アウトリーチ事業の実施協力
- エ 福島県保健福祉部障がい福祉課マッチング事業実施協力
- オ 矢吹病院家族会事務局担当（17 家族会活動状況の項参照）

## 9 臨床検査実施状況

(単位：件)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
臨床検査	33,616	30,857	32,382	26,608	24,407
1 一般検査	1,597	1,344	1,303	1,096	1,017
2 生化学検査	25,133	23,658	24,624	20,099	18,129
3 血液検査	3,905	3,666	3,932	3,029	2,834
4 生理検査	523	310	352	396	407
5 病理検査	0	0	0	0	0
6 細菌検査	54	41	45	60	71
7 免疫検査	331	248	360	305	376
8 その他	42	22	22	7	13
9 外部委託検査	1,774	1,329	1,525	1,407	1,341
10 患者外検査	257	239	219	209	219
X 線	302	404	401	522	376
C T	170	117	217	265	237

## 10 臨床心理業務実施状況

### 10- (1) カウンセリング等心理療法的業務

【平成27年度実施状況】

区 分	件 数
個 人 面 接、カ ウ ン セ リ ン グ	4 1 9
家 族、学 校 関 係 者 と の 面 談	6 2
S S T (生 活 技 能 訓 練)	1 2
心 理 教 育	8 5
合 計	5 7 8

### 10- (2) 心理検査

【平成27年度実施状況】

① 発達及び知能検査			
検 査 名	件 数	検 査 名	件 数
田中ビネーV	2 6	W A I S - Ⅲ	9 2
W I S C - Ⅳ	9 3	S - M社会生活能力検査	3 1
J A R T	8	P A R S	9 3
P V T - R	1 1	遠城寺式	5
A D H D - R S	1	K式発達検査	6
小 計			3 6 6
② 人格検査			
検 査 名	件 数	検 査 名	件 数
ロールシャッハテスト	6 4	M M P I	6 8
描画 (人物、バウム、家族等)	7 8	T E G	1 0
S C T	1 3	P - F	6 6
		Y - G	1
小 計			3 0 0
③ その他の検査			
検 査 名	件 数	検 査 名	件 数
長谷川式簡易スケール	1 5	記銘力検査	6
ベントン視覚記銘	1 2	B G T	1 4
M E D E	2 1	親子関係検査	2 6
クレペリン	2	一般職業適正検査	1
S D S	1	M M S E	6
A Q日本版	2 4	K - A B C Ⅱ	2 4
P O M S	4	ベック Ⅱ	1
小 計			1 5 7
総 計 ( ① + ② + ③ )			8 2 3

## 11 薬事の状況

【採用医薬品】

(平成28年4月1日現在)

	採用数	先発薬	後発薬	後発薬採用率
内用薬	328	277	51	15.5%
注射薬	80	73	7	8.8%
外用薬	69	54	15	21.7%
計	477	404	73	15.3%

【調剤状況1】

区 分 年 度	処 方 箋 枚 数		調 剤 数	
	入 院	外 来	入 院	外 来
平成18年度	13,884	11,030	25,719	29,835
	24,914		55,554	
平成19年度	14,120	10,976	26,411	28,361
	25,096		54,772	
平成20年度	12,907	10,426	24,682	28,351
	23,333		53,033	
平成21年度	13,101	9,760	24,614	28,329
	22,861		52,943	
平成22年度	12,392	8,750	23,550	23,929
	21,142		47,479	
平成23年度	14,627	9,000	28,003	24,285
	23,627		52,288	
平成24年度	12,459	8,773	24,005	22,864
	21,232		46,869	

【調剤状況2】

区 分 年 度	処 方 箋 枚 数					調 剤 数					処方箋	注射箋
	入院	外 来				入院	外 来				院外 枚数	全体 枚数
		精神科	内科	歯科	外来計		精神科	内科	歯科	外来計		
平成25年度	11,909	8,262	686	16	8,964	21,632	21,384	1,743	29	23,156	5	未集計
	(全体 20,873枚)					(全体 44,788剤)						
平成26年度	11,676	8,369	697	33	9,099	22,380	21,468	1,891	53	23,412	0	1,297
	(全体 20,775枚)					(全体 45,792剤)						
平成27年度	10,146	8,657	540	23	9,220	20,532	22,843	1,881	43	24,767	0	1,370
	(全体 19,366枚)					(全体 45,299剤)						

【服薬指導件数】

平成25年度	111件
平成26年度	103件
平成27年度	88件

## 【薬品購入額】

(千円)

平成18年度	106,332	平成23年度	127,856
平成19年度	112,699	平成24年度	119,629
平成20年度	115,500	平成25年度	127,030
平成21年度	116,699	平成26年度	123,389
平成22年度	113,021	平成27年度	128,526

## 12 給食実施状況

## 【患者及び患者外給食の状況】

区 分 年 度	患 者 食				デイケア (昼のみ)	合 計
	一 般 食		特 別 食			
	普通食	軟 食	加算対象食	非加算対象食		
平成18年度	71,506	37,272	34,478	35,107	3,952	182,315
平成19年度	57,941	41,663	49,282	32,567	3,598	185,051
平成20年度	50,270	36,811	41,644	35,733	3,459	167,917
平成21年度	45,784	33,421	35,291	41,395	3,208	159,099
平成22年度	50,456	30,832	35,300	38,026	3,233	157,847
平成23年度	63,356	36,836	34,869	40,188	3,451	178,700
平成24年度	52,528	37,990	26,926	29,403	3,840	150,687
平成25年度	67,397	35,083	19,847	20,604	3,293	146,224
平成26年度	69,026	34,752	17,585	14,037	2,676	135,820
平成27年度	66,043	30,903	14,804	14,664	2,336	128,750

## 13 看護活動の状況

### 13- (1) 病棟別看護概要

病棟	定数	病棟概要
一 病 棟	男子 44  (保護室8)	<p>1病棟は、急性期病棟として3ヶ月以内の短期間で治療を行う男女混合の閉鎖病棟である。</p> <p>日頃患者さんの安全に十分配慮し、安心して治療が受けられるよう環境を整えている。</p> <p>夜間は、3人夜勤体制で密度の濃い看護を提供している。</p> <p>治療は、主として薬物療法や精神療法を行うが、治療上の必要性から特に隔離・拘束が行われる場合もある。その際は、患者さんの人権や倫理的配慮を遵守した対応をしている。</p> <p>入院後、急性期を脱して回復期に入りコミュニケーションがとれるようになると、患者さんの退院後の生活を目指した関わりが行われる。ケースカンファレンスや多職種でのケア会議で患者さんと家族の意向を尊重しながら地域移行支援をすすめている。また、作業療法の導入や社会生活上で上手く適応していくための技能獲得や疾病教育・再入院予防などを目的に社会心理療法を行っている。</p> <p>病棟スタッフ一人一人がより良い看護が提供できるよう、院内・院外研修に参加し自己研鑽に努めている。</p>
二 病 棟	男女混合 48  (保護室6)	<p>男女混合の重症治療閉鎖病棟として、慢性期で症状の安定しない対応困難患者や治療抵抗性のある患者を対象としている。疾患は統合失調症、感情障害、発達障害、知的障害、認知症、多飲症と多様である。</p> <p>治療は薬物療法・精神療法を中心に、個別性を重視し、地域移行を念頭に看護を展開している。今年度から、治療抵抗性のある患者に対して、クロザリルの使用も開始した。</p> <p>看護提供方式は、モジュラーナーシングを導入し、夜勤体制も準夜3名、深夜3名で密度の濃い看護を提供している。</p> <p>入院中は、当事者の「夢や希望」を大切に、多職種でケア会議を家族・本人も含め開催し、地域移行支援を推進している。病棟内活動として、OTRによる作業療法、心理社会療法（心理教育・SST・レク）を導入し、治療意欲が持てるようにグループや個別に関わっている。</p>
三 病 棟	男女 57  (けやき5)	<p>男女混合の社会復帰病棟で開放病棟です。患者個々の病状、家族状況を踏まえながら安全で安心して入院生活が送れるように努めている。</p> <p>また、他職種と連携を図りながら退院促進に取り組んでいる。開放病棟の特殊性を生かして、作業療法（調理実習を含む）を始め服薬自己管理、現金自己管理、院外単独外出・外泊、他施設への試験外泊など自主性を尊重し地域移行を踏まえ生活の向上に努めている。更に心理社会療法として心理教育、SSTを統合して行っている。</p> <p>日常生活面では身体機能の維持と気分転換が図れるように毎月の目標を立てレクリエーションや体操を行っている。</p>

## 13-(2) 院内教育実施状況

平成27年度現任教育（研修）実施結果

平成28年6月

	研修項目	テ ー マ	日 時	参加者数 (延べ)	講 師
オリエン テーション	新規採用・転入者 オリエンテーション	プログラム研修	4/2～4/9	25名	横山院長・渡辺看護部 長・専門職種
医療安全 研 修	CVPPP	プログラム研修	5/21、5/28 6/4、6/11	16名	CVPPPトレーナー
		リフレッシュ研修	2/18	5名	CVPPPトレーナー
	医療安全管理	事故発生時の対応	6/30	30名	佐藤GRM
	医療機器	一時救命とAEDの取り扱い	8/30	16名	院内研修委員 高橋力専看
	フィジカルアセス メント	緊急時の看護とアセスメント	9/30	8名	院内研修委員 高橋力専看
	医療ガス	医療ガスの安全な取り扱いについて	11/20 12/9	8名 11名	星医療酸器
接遇研修	接遇	病院における接遇とは何か？	9/17 10/15 11/18	30名 9名 8名	院内研修委員 横山愛子医療技師 徳永眞由美専看
院内感染 対策研修	感染対策	結核について	8/27	13名	大津久美感染認定看護師 吉田製薬 宮崎勉先生
		インフルエンザについて	11/4	24名	大津久美感染認定看護師 吉田製薬 宮崎勉先生
		流行性感染症について	12/2	16名	大津久美感染認定看護師 吉田製薬 宮崎勉先生
倫理研修	医療倫理	精神科医療における法と倫理	7/1	24名	横山院長
		医療倫理（人として生きる）	8/31	37名	県立高知大学 中山洋子先生
	職業倫理	職業人としての倫理	8/26	6名	看護部長
中間管理 者 研 修	師長・専看研修	管理研修	12/21	10名	院内研修委員 関根洋子専看 谷口智子専看
	主任者研修	コーチング	11/10	16名	大沼師長
看 護 部 レ ベ ル 別 研 修	基礎研修	セルフケア概念	6/10	12名	濱尾早苗専看
		セルフケアと看護 (ケースワーク)	9/10 11/12 1/14	13名 17名 8名	濱尾早苗専看
		精神科における薬物療法	9/15	26名	高橋真貴子認定看護師
		行動制限（隔離と拘束）	11/13	15名	安田義光認定看護師
	臨床指導担当者研 修	臨地実習指導者の目的と役割	7/21 8/4	6名 7名	長久保主任看護技師
	看護研究	看護研究について	5/12	12名	看護研究検討委員 鈴木忍主任看護技師
		看護研究発表会	2/25	28名	濱尾早苗専看

	研修項目	テ ー マ	日 時	参加者数 (延べ)	講 師
専 門 ・ ト ピ ク ス 研 修	認定看護師研修会	精神保健福祉法	5/28	13名	安田義光認定看護師
		薬物療法と看護	5/20	15名	高橋真貴子認定看護師
			6/2	25名	
	10/8		16名		
	1/27		16名		
3/10	13名				
身体合併症と看護	7/14 8/6	18名 13名	増子副主任看護師		
ACT・多職種 アウトリーチ	アウトリーチ概念 ストレンクスとリカバリー	7/8	20名	濱尾早苗専看	
	アウトリーチの実際	9/16	26名	濱尾早苗専看	
そ の 他	チーム医療	事例検討会	6/26 8/21 1/26	16名 10名 10名	濱尾早苗専看
	看護部長との懇談 会	平成28年度夜勤体制について	2/9	14名	看護部長
臨 時 研 修	特別研修	マッチング研修会	6/29 12/17	35名 20名	マッチング担当 武田牧子
		認知症と看護	11/26	24名	認知症看護認定看護師 田辺晃子
		皮膚・排泄	10/29	18名	皮膚・排泄認定看護師 土屋朝子
		看護方式を変更して	2/23	5名	菅野師長
		診療報酬改定説明会	3/10 3/24 3/29	38名	株式会社ソラスト
		情報セキュリティー (個人情報保護)	10/22 11/19	27名 33名	福島県情報政策課

## 13-(3) 院外研修実施状況

平成27年度実施結果

平成28年3月

項 目	開 催 地	延人数
1 県 関 係		
県立病院師長・専門看護技師研修会	福 島 市	3
県立病院レベル別研修会	福 島 市	9
県立病院看護研究発表会	福 島 市	11
県南地域医療安全ネットワーク会議	白 河 市	3
感染症危機管理研修会	郡 山 市	1
結核モデル審査会	白 河 市	2
県立病院安全ネットワーク	矢吹病院・南会津病院	4
県立病院医療安全週間 講演会	南 会 津 病 院	15
医療機器安全管理セミナー	郡 山 市	1
自治研修センター研修	福 島 市	6
2 看護協会関係 (日精看・日看協・日看連)		
(一社)日本精神科看護技術協会 福島県支部研修会	郡山市・福島市	6
(一社)日本精神科看護技術協会 本部研修会	郡 山 市	8
(公社)日本看護協会 日本看護学会	郡 山 市	4
(公社)福島県看護協会 医療安全管理者養成研修会	郡 山 市	1
(公社)福島県看護協会 新人看護職員研修関連研修会	郡 山 市	1
(公社)福島県看護協会 総会・ジェネラリスト研修会	郡 山 市	4
3 全自病協・その他		
自治体病院学会	福 島 市	5
精神医療懇話会	い わ き 市	3
感染制御ネットワーク研修会	郡 山 市	4
アウトリーチ研修	東 京	1

## 14 児童思春期外来の実施状況

### 14- (1) 開設からの経緯

当院内に平成23年8月に児童思春期外来を開設しまして4年目になります。

県内の診療施設も限られており、3～6ヶ月の診療待ちの状況です。一方、子どもたちのこころの問題への対応には早期診断、早期治療が重要であり、昨年、児童思春期シンポジウムの開催や教育者を対象としたミニレクチャー（1回/月）など行い啓蒙を図っています。

また、不登校児に対しては児童デイケア、障害のある子ども達に対するチャイルド SST、保護者に対するペアレントトレーニングや家族心理教室（第3土曜日）など支援の幅を広げて実施しています。

### 14- (2) 診療日・診療時間・担当医師

診察日	診療時間	担当医師
水曜日/月、金曜日/月	9：30～12：00	県立医科大学医師（2名）
火曜日（毎週）	13：00～16：30	石川大道医師
木曜日（毎週）	13：00～16：30	金澤壮一医師
第三土曜日	9：00～16：00	井上祐紀医師 横浜市南部地域療育センター

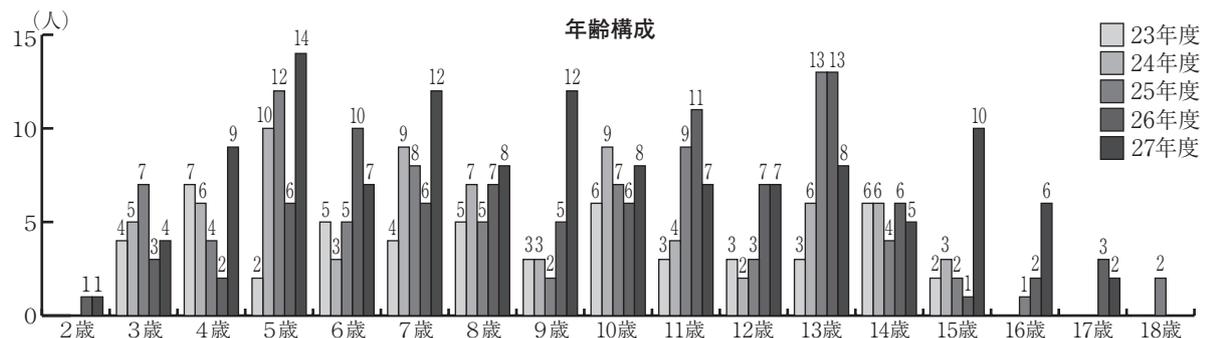
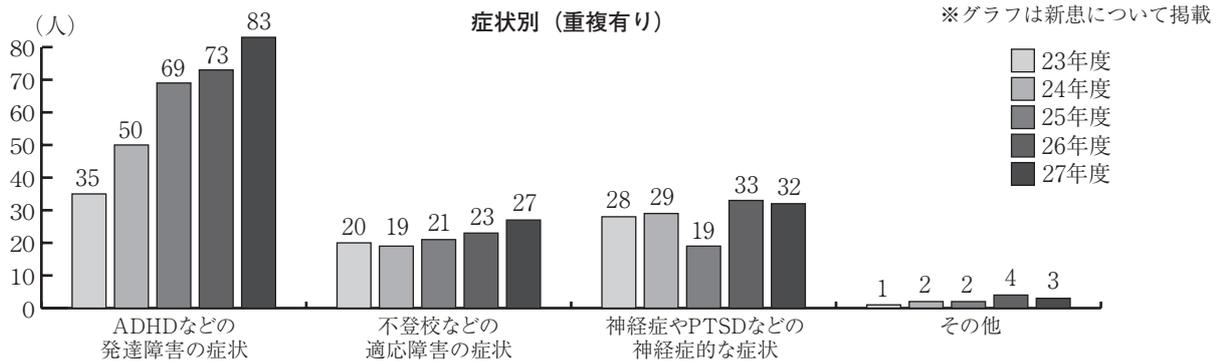
### 14- (3) 診療対象年齢・疾患

ア 対象年齢 3歳～18歳まで

イ 対象疾患 発達障害（ADHD、自閉症スペクトラムなど）、適応障害（不登校など）  
習癖異常（チック、抜毛など）

### 14- (4) 外来受診状況

	新患	再診	計
平成23年度	53名	72名	125名
平成24年度	73名	336名	409名
平成25年度	84名	545名	629名
平成26年度	89名	694名	783名
平成27年度	120名	907名	1,027名



## 15 地域医療連携の実施状況

### 15- (1) 業務内容

患者様やご家族が安心して医療サービスが利用できるように、皆様や地域の医療機関・福祉施設・保健所等と受診や入院・転院に掛かる相談の窓口を行っています。

- ①一般新患、児童・思春期外来の予約
- ②個人からの受診相談
- ③他の医療機関、行政機関等との相談・紹介・連絡・調整等
- ④通報、捜査関係事項照会、鑑定、救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整

### 15- (2) 実施状況

(単位：件)

(単位：件)

項 目	平成27年度
1 個人の受診予約・相談等	424
2 関係機関等との相談・紹介・連絡・調整等	200
3 通報・鑑定・捜査関係事項照会・救急搬送、アウトリーチ等の連絡・調整等	666

項 目	平成27年度
1 紹介患者数	157
2 逆紹介患者数	119
3 救急搬送	15

## 16 他機関への協力・援助状況

### 16- (1) 学校関係

#### ア 非常勤講師の派遣

区 分	教 科	時 間	担 当
公立岩瀬病院附属高等看護学院	精神看護	31時間	院長、主任看護技師 長久保益栄
白河医師会白河准看護学院	精神看護	32時間	主任看護技師 長久保益栄 主任看護技師 野中 重徳

#### イ 実習生の受入れ

うち ( ) は男子

区 分	種 別	人 数	期 間
白河医師会白河准看護学院	看護学生	18 (8)	27. 9.28~27.10. 9
			27.11. 9~27.11.20
福島県立医大看護学部	看護学生	5	27. 8.31~27. 9.25
国際メディカルテクノロジー専門学校 看護学科通信課程	看護学生	12 (2)	27. 5.28~27. 5.29
			27. 6. 4~27. 6. 5
岩手リハビリテーション学院	OT学生	1 (1)	27. 4.13~27. 5.30
東北保健医療専門学校	OT学生	1 (1)	27. 6. 1~27. 7.17
郡山健康科学専門学校	OT学生	1 (1)	27. 6. 8~27. 7.31
東北福祉大学	OT学生	1 (1)	27.10.13~27.12. 4
日本医療科学大学	OT学生	1 (1)	27. 5.11~27. 7. 4
仙台保健福祉専門学校	OT学生	1 (1)	27. 8.17~27.10. 9

## 16-(2) 県関係

区 分	種 別	回数	担 当
会津医療センター	診療応援	13	医 師
宮下病院	診療応援	26	医 師
南会津病院	診療応援	23	医 師
県中保健福祉事務所	心の健康相談	3	医 師
県南保健福祉事務所	心の健康相談	12	医 師
精神科救急医療システム連絡調整委員会	定期会議	1	院 長
福島県精神医療審査会	書類審査	6	院 長
退院等請求実地審査	意見聴取	0	院 長
措置入院者実地審査	実地審査	1	院 長

## 16-(3) 市町村関係

区 分	種 別	回数	担 当
矢吹町教育委員会	心身障害児就学指導審議会	2	医師、心理判定員
矢吹町教育委員会	心身障害児心理検査、面接	11	心理判定員2名
泉崎村	3歳児健診	3	心理判定員1名
泉崎村	心の相談会	25	心理判定員1名
白河市	発達相談会	7	医師
東白川地域	乳幼児発達相談会	2	医師
西白河地域	乳幼児発達相談会	2	医師、心理判定員2名

## 16-(4) 団体関係

区 分	種 別	回数	担 当
特別養護老人ホーム「寿光園」	嘱託診療	36	医 師
矢吹救護院天風寮「緑風園」	嘱託診療	24	医 師

## 16-(5) 講演会関係

年月日	講演者名	演 題	講演場所	対 象 者
27. 6. 2	横山 昇	精神科の救急医療マニュアルについて	白河厚生総合病院	同病院職員、消防署員、他(40名)
27. 6. 21	佐藤 浩司	精神障害の理解・精神疾患における薬物療法	福島県看護協会 会館「みらいホールA」	福島県内訪問看護師
27. 8. 6	佐藤 浩司	23条通報における自傷他害の恐れ の考え方及び精神障害者の触 法行為について	県立矢吹病院 会議室	管内警察署員(生活安全 課職員)、管内精神病院の ケースワーカー等、市町 村職員
27. 9. 4	佐藤 浩司	23条通報対応者の考え方と医療 観察法との関係	福島県県中保健福祉 事務所 大会議室	管内警察署員(生活安全 課職員)、管内精神病院の ケースワーカー等、市町 村職員
27. 10. 23	金澤 壮一	当院の児童思春期外来の紹介	県立矢吹病院 会議室	矢吹町民生員
27. 10. 23	佐藤 浩司	統合失調症と薬物療法(統合失 調症の更なる理解に向けて)	福島県立医科大学 8号館 S603講義室	福島医科大学院看護研究 科
27. 10. 24	横山 昇	60年のあゆみと矢吹病院のこれ から	矢吹町文化センター	一般住民、医療・保健・ 福祉関係者、他(230名)
27. 11. 13	横山 昇	うつ病の基礎知識 ～うつ病とアルコール	県南保健福祉事務所 大会議室	一般市民 (うつ病者の家族)(32名)

27.12.7	金澤 壮一	大人の発達障害の理解と対応	県北保健福祉事務所	一般住民、障がい者施設の職員
28.1.15	金澤 壮一	子供と関わる人たちに伝えたいちょっとしたこと	矢吹町文化センター大ホール	教育関係者、障がい児を持つ保護者
28.2.25	佐藤 浩司	23条通報対応者の考え方と医療観察法との関係	福島県県北保健福祉事務所 大会議室	管内警察署員（生活安全課職員）、管内精神病院のケースワーカー等、市町村職員

#### 16-(6) 院外研究発表

研修会名	年月日	場 所	発表者	演 題
日精看全国学術集会	27.6.18	郡山市	加藤 智子	精神科患者が捉える人的環境要因としての看護師の存在とは
日精看全国学術集会	27.6.18	郡山市	橋本 純一	精神科入院患者の原発事故による帰宅困難がもたらす心理的影響
日精看福島県支部看護研究発表会	27.7.16	郡山市	熊田 智子	精神科病棟の金銭自己管理における患者の意識検討
精神保健福祉東北学会	27.10.18	福島市	北澤 利江	触法精神障がい者に心理的アプローチを取り入れた面接を通して出た変化をみる
精神保健福祉東北学会	27.10.18	福島市	磯貝みゆき	精神科長期入院患者の退院が入院継続している精神科長期入院患者の退院意欲に与える影響
県立病院看護発表会	27.12.11	福島市	安田 義光	精神科入院患者への代理行為に影響を及ぼしている看護師意識
県立病院看護発表会	27.12.11	福島市	熊田 友子	妄想が強く現実検討が難しい統合失調症患者へのレクリエーションを用いた関わり

#### 16-(7) 出前講座

講 座 名	講師	年月日	場 所	主 催 者
転倒防止プログラム「ふまねっと」	米畑 聡	28.3.14	矢吹町文京集会所	矢吹町社会福祉協議会

## 17 家族会活動状況

#### 17-(1) 一般的活動

年月日	活 動 内 容	参加者（人数）
27.5.30	「つばさ会」総会出席	会長、事務局
27.6.12	家族会役員会及び家族会総会開催	会員（5）、来賓（6）
	家族会例会（9/29、10/30、11/24、12/22）	
27.9.3~4	平成27年度北海道・東北ブロック家族会精神保健福祉促進研修会福島大会	会長、副会長
27.12.10	福島県精神保健福祉連絡会つばさ会県南支部事業精神障がい者家族教室	会長

17-(2) 「家族通信」の発行（5/15、8/5の年2回発行…全会員に郵送）

17-(3) 矢吹病院まつり開催協力（10/25）



## 平成28年度病院概要

---

平成28年7月1日発行

発行 福島県立矢吹病院

院長 横山 昇

〒 969-0284 福島県西白河郡矢吹町滝八幡 100

TEL 0248-42-3111 (代)

FAX 0248-44-2551

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/25140a/>

E-mail: [yabuki.byouin@pref.fukushima.lg.jp](mailto:yabuki.byouin@pref.fukushima.lg.jp)

---